

各担当の問合せ先（住所／Tel／Fax／E-mail）は
最終ページに掲載しています。

会 告

Vol.40 No.12

会告目次	1
IPSJカレンダー	2
坂井記念特別賞候補者の推薦募集について	4
研究発表会開催通知	4
第128回計算機アーキテクチャ研究会	4
第94回システムLSI設計技術研究会	4
第119回知能と複雑系研究会	5
第125回ソフトウェア工学研究会	5
第71回アルゴリズム研究会	6
第27回プログラミング研究会	6
第34回グループウェア研究会	6
第120回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	7
第45回人文科学とコンピュータ研究会	7
第7回コンピュータセキュリティ研究会	7
第120回データベースシステム研究会	8
第135回自然言語処理研究会	8
第87回ヒューマンインタフェース研究会	9
第36回情報メディア研究会 } 合同研究会	9
第7回電子化知的財産・社会基盤研究会 }	
研究会論文募集	10
「高度交通システム研究会」発足のお知らせ	11
平成12年度研究会登録費について	12
平成12年度「研究会論文誌」年間購読のお知らせ	12
「2000年情報学シンポジウム」参加者募集	12
「分散システム／インターネット運用技術シンポジウム2000」参加者募集	13
「インタラクシオン2000」インタラクティブセッション論文募集	14
Call for Papers The 2001 Symposium on Applications and the Internet (SAINT-2001)	14
支部だより	15
新しい情報処理学会論文誌：（研究会論文誌）の編集について	16
会員の皆様へのお知らせ・お願い（会員担当）	17
「大学の理工系学部情報系学科のためのコンピュータサイエンス教育カリキュラムJ97（第1.1版）」 頒布のお知らせ	19
会議案内（協賛・後援）	19
その他のお知らせ	19
第446回理事会	20
採録論文一覧	20
掲載論文一覧	21
新規入会者の紹介	21
今年の「情報処理」の記事を閲読した方々	22
情報処理学会「行事」申込書	23
情報処理学会「書籍」申込書	24
有料会告について	25
人材募集	26
寄贈図書一覧	15, 18



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp>

本誌共定価 1680円（本体1600円）

IPSJカレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
関西支部 「平成11年度セミナー」	天満研修センター	12月15日 (水)			40-12 会15p	西
第27回オーディオビジュアル複合 情報処理研究会	北大	12月16日 (木) ～17日 (金)	当日のみ		40-11 会12p	研
中国支部 「講演会」	島根大	12月17日 (金)			40-12 会15p	中
中国支部 「映像の科学シンポジウム'99」	常盤工業会館	12月17日 (金) ～18日 (土)			40-11 会29p	中
中国支部 「講演会」	広島大	12月20日 (月)			40-12 会16p	中
第29回音声言語情報処理研究会	早大	12月20日 (月) ～21日 (火)	当日のみ		40-11 会13p	研
第128回計算機アーキテクチャ研究会	旭ロイヤルホテル	平成12年 1月 7日 (金)	当日のみ		40-12 会4p	研
第94回システムLSI設計技術研究会	熊本大	1月11日 (火) ～12日 (水)	当日のみ		40-12 会4p	研
第41回プログラミング・シンポジウム	箱根ホテル 小涌園	1月11日 (火) ～13日 (木)	平成11年 11月26日 (金)	平成11年 8月27日 (金)	40-11 会19p	事
第119回知能と複雑系研究会	大阪市立大	1月12日 (水) ～13日 (木)	当日のみ		40-12 会5p	研
2000年情報学シンポジウム	日本学術会議 講堂	1月13日 (木) ～14日 (金)	12月24日 (金)	9月 3日 (金) 必着	40-12 会12p	研
第125回ソフトウェア工学研究会	情報処理学会	1月14日 (金)	当日のみ		40-12 会5p	研
第71回アルゴリズム研究会	阪大	1月17日 (月)	当日のみ		40-12 会6p	研
第27回プログラミング研究会	エッカホテル	1月18日 (火) ～19日 (水)	当日のみ		40-12 会6p	研
第34回グループウェア研究会	情報処理学会	1月20日 (木)	当日のみ		40-12 会6p	研
東海支部 「講演会」	名大	1月20日 (木)			40-12 会16p	海
第120回コンピュータビジョンと イメージメディア研究会	NTT京阪奈ビル	1月20日 (木) ～21日 (金)	当日のみ		40-12 会7p	研
第45回人文科学とコンピュータ 研究会	長崎総合科学大	1月21日 (金)	当日のみ		40-12 会7p	研
第7回コンピュータセキュリティ 研究会	富士通	1月21日 (金)	当日のみ		40-12 会7p	研
情報システムと社会環境 シンポジウム	東洋大	1月21日 (金)	12月24日 (金)	9月10日 (金) 必着	40-11 会21p	研
「連続セミナー99」ネットワーク社会の 犯罪防止とプライバシーの保護	工学院大	1月21日 (金)	定員になり次第		40-11 会14p	事
第120回データベースシステム研究会	神戸ファッション マート	1月24日 (月) ～25日 (火)	当日のみ		40-12 会8p	研
ASP-DAC 2000 Asia and South Pacific Design Automation Conference 2000	パシフィコ横浜	1月25日 (火) ～28日 (金)	12月22日 (水)		40-11 会22p	事
第135回自然言語処理研究会	広島市立大	1月27日 (木) ～28日 (金)	当日のみ		40-12 会8p	研
第87回ヒューマンインタフェース 研究会	情報処理学会	1月28日 (金)	当日のみ		40-12 会9p	研
第36回情報メディア研究会	一橋大	1月29日 (土)	当日のみ		40-12 会9p	研
第7回電子化知的財産・社会基盤 研究会	一橋大	1月29日 (土)	当日のみ		40-12 会9p	研
分散システム/インターネット 運用技術シンポジウム2000	東大	2月 3日 (木) ～ 4日 (金)	平成12年 1月21日 (金)	10月22日 (金) 必着	40-12 会13p	研
インタラクシオン2000	東工大	2月29日 (火) ～3月 1日 (水)		12月25日 (土)	40-12 会14p	研
数理モデル化と問題解決シンポジウム	同志社大	3月 2日 (木) ～ 3日 (金)		12月17日 (金) 必着	40-10 会15p	研
「連続セミナー99」安心ホームヘルス ケア/バーチャルホスピタル	工学院大	3月 7日 (火)	定員になり次第		40-11 会14p	事
情報処理学会第60回全国大会	拓殖大	3月14日 (火) ～16日 (木)		12月3日 (金)	40-11 会23p	事
2000年記念並列処理シンポジウム JSP2000	早稲田国際 会議場	5月30日 (火) ～6月 1日 (木)		12月14日 (火)	40-10 会17p	研
画像の認識・理解シンポジウム MIRU2000	長野ビッグハット	7月18日 (火) ～21日 (金)		平成12年 1月31日 (月)	40-11 会26p	研

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
IFIP「第16回世界コンピュータ会議」	中国北京	8月21日(月) ～25日(金)		1月10日(月)	40-7 会18p	事
The 2001 Symposium on Applications and the Internet (SAINT-2001)	サンディエゴ 米国	平成13年 1月 8日(月) ～12日(金)		3月 1日	40-12 会14p	事
論文誌投稿締切			発行予定月	論文/応募締切	掲載頁	
論文誌特集号「モバイルコンピューティング」		平成12年9月		平成11年 12月24日(金)	40-8 会17p	論
論文誌特集号「知識と情報の共有」		平成12年10月		平成12年 3月15日(水) 必着	40-11 会26p	論
論文誌特集号「電子化知的財産・社会基盤」		平成12年11月		4月20日(木)	40-10 会15p	論
論文誌特集号「インターネット応用システムの構築と 運用管理」		平成12年12月		4月28日(金)	40-10 会16p	論
論文誌特集号「マルチメディアネットワークシステム」		平成13年初頭		5月 8日(月)	40-10 会16p	論
その 他				応募/推薦締切	掲載頁	
代表会員候補者募集				平成11年 12月15日(水) 必着	40-11 会4p	総
坂井記念特別賞候補者推薦				平成12年 1月14日(金) 必着	40-12 会4p	総
論文賞候補の論文推薦				1月14日(金) 必着	40-11 会11p	論

記1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。
記2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号付録(会告)に掲載されています。
記3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 調査研究, 事: 事業, 国: 国際, 論: 論文誌, 編: 会誌, 総: 総務, 経: 経理, 会: 会員,
規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。
各行事についての問合せ等は担当までお願いします。
記4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。本: 本誌, 会: 会告(付録), 全大: 全国大会プログラム(付録)

坂井記念特別賞候補者の推薦募集について

第8回(平成11年度)坂井記念特別賞の候補者を募集いたします。

本賞は、若手研究・開発者の「業績」に対して贈られる賞であり、候補者の業績は本学会の論文には限りません。以下をご一読のうえ多くの候補者の方のご推薦をいただけますようお願いいたします。

賞の候補者は、情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野の研究・開発に従事し、学術・技術の進歩に顕著な貢献が認められ、今後の進歩、発展に期待がもてる39歳(平成12年3月末現在)までの研究・開発者を対象といたします。なお、過去に応募された方の再応募も可能です。

賞の候補者を推薦される方は、下記「坂井記念特別賞候補者推薦要領」を参照のうえ、期日までに事務局宛に「坂井記念特別賞候補者推薦書」を郵送ください。

第8回(平成11年度) 坂井記念特別賞候補者推薦要領

- 対象分野 情報処理に関する基礎・理論、ハードウェア、ソフトウェア、アプリケーションなどの各分野とする。
- 候補者の対象 情報処理に関する分野の研究・開発に従事し、その成果が顕著であると認められ、今後、学術・技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究・開発を活発に行っている本学会正会員で39歳(平成12年3月末現在)までの若手研究・開発者とする。なお、候補者は個人、または共同研究・開発の場合は、その代表者とする。
- 推薦者 本会正会員とする。
- 推薦手続 所定の推薦用紙に必要事項を記載し、本会あてに1部を提出する。
- 推薦締切日 平成12年1月14日(金)必着とする。
- 選考方法 学会内に坂井記念特別賞候補者選定委員会を設け候補者4名以内を選定し、理事会において決定する。

*なお、選考の過程で、推薦者または候補者に照会する場合がありますのであらかじめご承知おきください。

- 賞の贈呈 平成12年5月の第42回通常総会で表彰(賞状および賞金30万円を贈呈)

注)本賞の候補者を推薦される方は、下記事務局宛に推薦用紙をご請求いただくか、または学会WWWホームページ(<http://www.ipsj.or.jp/>)をご参照ください。推薦用紙のサイズはA4判としますが、ホームページ上の見本に準拠したものであれば、事務局配布のものに限りません。

[推薦用紙請求先・提出先・照会先]

(社)情報処理学会 坂井記念特別賞係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail:somu@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535

Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

研究発表会開催通知

(平成12年1月7日~1月29日)

◆第128回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数:9件)

(主査:中島 浩,幹事:児玉祐悦,中田登志之,中村 宏)

日時 平成12年1月7日(金)10:00~17:30

会場 旭ロイヤルホテル

[高知市九反田9-15. JR高知駅から路面電車(棧橋通行):は

りまや橋下車,(知寄町行):菜園場下車,徒歩5分.

Tel(088)885-5111]

議 題

[10:00~12:00]

- (1) 再帰的データ構造を対象としたループの並列投機実行方式
本河俊樹,山村周史,布目 淳,平田博章(京工繊大)
新實治男(京産大),柴山 潔(京工繊大)
- (2) 遺伝的アルゴリズムを用いたオンライン分岐予測機構の設計
石田圭太郎,松崎元昭,安藤秀樹,島田俊夫(名大)
- (3) ハイパフォーマンスコンピューティングに適したメモリアーキテクチャの予備評価
大河原英喜(東大)
近藤正章(筑波大),中村 宏(東大),朴 泰祐(筑波大)

[13:00~17:30]

- (4) PCクラスタのためのネットワークカードの設計
西村公行,小畑正貴(岡山理科大)
- (5) 並列デッドロック回復ルータRecover-xの性能評価
林 匡哉,堀田真貴,中村さゆり,吉永 努
大津金光,馬場敬信(宇都宮大)
- (6) 計算機クラスタにおける同期・通信コントローラの初期評価
早川 潔,関口智嗣(電総研)
- (7) 共有メモリ型並列計算機の分散シミュレータ
今福 茂,大野和彦,中島 浩(豊橋技科大)
- (8) データ依存のみを持つマクロタスクグラフに対するデータローカライゼーション手法
成清暁博(早大),松崎秀則(東芝)
小幡元樹(早大),吉田明正(東邦大),笠原博徳(早大)
- (9) コンパイラ制御可能なCOMA環境を実現するソフトウェア
DSM Laurasiaの実装 上原哲太郎,齋藤彰一(和歌山大)
城 和貴(奈良女子大),國枝義敏(和歌山大)

◆第94回 システムLSI設計技術研究会

(発表件数:21件)

(主査:今井正治,幹事:伊藤和人,小栗 清,中田恒夫)

日時 平成12年1月11日(火)10:30~17:45

12日(水)9:30~16:30

会場 熊本大学 工学部

[熊本市黒髪2-39-1. JR熊本駅から熊本産交バス(阿蘇・大津方面行):熊本大学前下車,または熊本空港からバス・タクシーで約1時間.会場,交通手段の詳細は研究会HP <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/SIGDA/>をご覧ください.]

議 題 テーマ:FPGAとその応用および一般

1月11日(火)

[10:30~12:00]

- (1) 3bit compactionと冗長2進を用いたFPGA向き24bit乗算器
三尾母貴弘,安岡孝一,金澤正憲(京大)
- (2) URRを用いた浮動小数点乗算回路のVLSIへの実装と評価
葛 毅,阿部公輝,浜田穂積(電通大)
- (3) 減算シフト型立方根計算回路
高木直史,南 利明(名大)

[13:15~16:45]

- (4) 順序回路の状態探索向けBDDの動的変数順序づけ手法
樋口博之(富士通研)
- (5) 一般化二分決定グラフの生成法
片山哲志,越智裕之,津田孝夫(広島市立大)
- (6) 二分決定グラフの非明示的表現における節点符号化法
山内 仁,高橋浩光(岡山県立大)
- (7) 最小カットを用いて適切な部分回路を抽出するための効率的な手法
畔上謙吾,高橋篤司,梶谷洋司(東工大)
- (8) 層割当てのためのネット集合分割に基づく制約付きビア数最小化手法PNLA
小林利大,渡邊敏正(広島大)
- (9) プリント基板配線における非平面接続要求の部品下領域を利用した埋め込み手法
高藤大介,墨川新平,渡邊敏正(広島大)

[16:45~17:45] ●招待講演

(10) ビットシリアルFPGAシステムの開発

一色 剛, 太田章久, 國枝博昭 (東工大)

1月12日 (水)

[9:30~12:00]

(11)動作合成システムによるCPLD設計

中條 新, 川上洋史, 檀 良 (法政大)

(12)選択的突然変異を用いた遺伝的アルゴリズムによるフロアプラン設計問題 舟堀浩介, 檀 良 (法政大)

(13)セット端子のないJKフリップフロップのゲートレベルシミュレーション 松下浩明 (詫間電波高専)

(14)通信時間を考慮したスケジューリングと素子配置 中野正喜, 伊藤和人 (埼玉大)

(15)固定制御可検査性に基づくRTL回路の非スキャンテスト容易化設計法 永井慎太郎, 和田弘樹, 大竹哲史, 藤原秀雄 (奈良先端大)

[13:15~16:30]

(16)FPGAベース並列マシンRASHでのDES暗号回路の改良

浅見廣愛 (三菱電機)

飯田全広 (三菱電機エンジニアリング)

中島克人, 森 伯郎 (三菱電機)

(17)FPAccA model 2.0チップの設計-再構成可能な浮動小数点演算器アレイ-

河野陽一, 越智裕之, 津田孝夫 (広島市立大)

(18)動的な部分再構成デバイスを用いた仮想ハードウェアシステム 宇野正樹, 柴田裕一郎, 天野英晴 (慶大)

(19)教育用パイプライン処理マイクロプロセッサpicoの開発 西村克信, 額田多政, 天野英晴 (慶大)

(20)KIT COSMOSプロセッサ:背景と着想 佐藤寿倫, 有田五次郎 (九工大)

(21)FPGAを実装したPCIカードによる分散共有メモリ型並列計算機の構築 立川 純, 久家裕司, 大濱智弘

田中康一郎, 有田五次郎 (九工大)

*電子情報通信学会(コンピュータシステム研究会, VLSI設計技術研究会)と共催.

*11日の夜に懇親会(会費5,000円)を予定しています。ぜひご参加ください。懇親会については12月20日(月)までに下記へE-mailまたはFaxでご連絡ください。お名前, ご所属, 連絡先, E-mailアドレスをお忘れなく。

懇親会申込先:久我守弘(熊本大)

E-mail:kuga@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel/Fax(096)342-3647

◆第119回 知能と複雑系研究会 (発表件数:25件)

(主査:橋田浩一, 幹事:有馬 淳, 長尾 確, 山田誠二)

日 時 平成12年1月12日(水) 10:10~17:30

13日(木) 10:10~17:20

会 場 大阪市立大学 文化交流センター

[大阪市北区梅田1-1-3-1700 大阪駅前第三ビル16F. 地下鉄(御堂筋線):梅田下車, 徒歩約10分. Tel(06)6344-5425]

議 題

1月12日(水)

[10:10~12:15] ●社会システムにおける知能

(1)人工市場入門&人工市場アプローチによる為替シナリオの分析 和泉 潔 (電総研), 植田一博 (東大)

(2)人工市場理論とその相転移ダイナミクス 山口あづさ (お茶の水女子大)

(3)指示詞としての「貨幣」 篠原修二 (神戸大) 中野昌宏 (大分大), 中島義裕 (大阪工大)

(4)人工社会における貨幣交換 長谷川敦士, 植田一博 (東大)

(5)人工証券市場の構築とその評価 嶋谷 毅 (東大)

[13:05~15:10] ●社会システムにおける知能

(6)価格変動モデル:マルチエージェントモデルから統計モデルへ 佐藤彰洋 (東北大), 高安秀樹 (ソニーCSL)

(7)マーケットの安定性と価格シグナル 水田秀行 (日本IBM) Ken Steiglitz, Erez Lirov (Princeton Univ.)

(8)連想記憶を持つ金融ネットワークのダイナミクス 海蔵寺大成 (国際基督教大)

(9)分類システムによるエージェントの共進化とマーケティング

グシミュレーション 石川泰志, 寺野隆雄 (筑波大)

(10)マルチエージェントを用いた社会的交渉の分析

菱山玲子, 寺野隆雄 (筑波大)

[15:15~17:30] ●チュートリアル

(11)生命と認知への複雑系のアプローチに関して

池上高志 (東大)

1月13日(木)

[10:10~12:15] ●社会システムにおける知能および一般

(12)コミュニティの共有知の基盤としての存在・状態伝達システムの提案 大黒 毅, 吉田 仙, 桑原和宏 (NTT)

(13)分子動力学法の間人の群集行動への適用

石黒美佐子, 美齊津的知 (茨城大)

(14)新規参入を容易とする頑健な情報財取引メカニズムの提案

松原繁夫, 横尾 真 (NTT)

(15)コンピュータブリッジのビッドにおける協調と競合

安藤剛寿, 小林紀之, 上原貴夫 (東京工科大)

[13:05~17:20] ●一般

(16)強化学習における環境変化の認識法

山本真也, 山口文彦, 斎藤博昭, 中西正和 (慶大)

(17)先天的行動制約のもとでの強化学習の試み

東原智幸, 畝見達夫 (創価大)

(18)概念ベースにおける属性数の検討と概念間の関連度計算方式 入江 毅, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)

(19)常識判断のための概念ベース構築法

小島一秀, 渡部広一, 河岡 司 (同志社大)

(20)SATソルバによるアクション言語処理系の実装

鍋島英知, 井上克己, 羽根田博正 (神戸大)

(21)指し将棋における適切な候補手の学習に関する研究

長尾智晴, 金田道明 (東工大)

(22)不完全同定モデルに基いたエージェントによるダイナミクスの符号化 右田正夫, 上田次次 (神戸大)

(23)進化学習システムの動的環境における様々な適応メカニズムの発現 山崎和子, 関口益照 (東京情報大)

(24)ワールドワイドウェブを知識源とした地域情報の自動編集 大槻洋輔, 佐藤理史 (北陸先端大)

(25)ワールドワイドウェブからの人物情報の自動収集

山本あゆみ, 佐藤理史 (北陸先端大)

*電子情報通信学会(人工知能と知識処理研究会)と共催.

◆第125回 ソフトウェア工学研究会 (発表件数:14件)

(主査:玉井哲雄, 幹事:上原三八, 岸 知二, 佐伯元司)

日 時 平成12年1月14日(金) 9:00~17:30

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F. JR(山手線, 京浜東北線):田町(東口)下車, 徒歩7分. または地下鉄(浅草線, 三田線):三田下車, 徒歩10分. Tel(03)5484-3535]

議 題

[9:00~12:15]

(1)モバイル環境における分散オブジェクトシステムの実現とその評価

山口実靖, 野上耕介, 相田 仁, 齊藤忠夫 (東大)

(2)Javaにおけるクラス定義の動的交換システムの構築

野上耕介, 山口実靖, 相田 仁, 齊藤忠夫 (東大)

(3)「ドメインモデル≒計算モデル」を志向したアプリケーション開発環境M-baseにおけるアプリケーション開発技法

紺田直幸, 中所武司 (明大)

(4)ソフトウェアプロジェクトにおけるリスク要因の推定方法

古山恒夫 (東海大), 石橋雄一 (スタットラボ)

花本佳一, 岩尾俊二 (構造計画研究所)

(5)ソフトウェアプロセス能力診断用キット類の一実装方法

福山峻一, 宮村修一, 高木英雄

田中僚史 (NTTソフトウェア)

(6)認知構造の違いによる生産性の変化を考慮したソフトウェア開発シミュレーションモデル 森川昌平, 花川典子

松本健一 (奈良先端大), 井上克郎 (阪大)

鳥居宏次 (奈良先端大)

[13:15~17:30]

- (7) ベトリネット・モデルを利用した分散ソフトウェア要求の動的解析
井上哲哉 (創価大)
- (8) 命題論理に基づいた並行システムの制約付き記述法
佐藤明子, 高橋 薫 (仙台電波高専)
- (9) インタラクティブシステムの設計におけるタスクの形式的記述とその実現
地平 稔, 池田瑞穂, 高田喜朗, 関 浩之 (奈良先端大)
- (10) プラントソフトウェアの要求定義用ソフトウェア部品の開発
高橋正和 (筑波大)
- (11) ソフトウェア開発対象業務の動的側面に注目した要求獲得支援
森田俊夫, 山田宏之 (愛媛大)
- (12) PCTEを用いたUNIXコマンドデータベースの作成
田中 聡, 権藤克彦 (北陸先端大)
- (13) 組み込みシステム設計のためのObTSに基づく記述支援環境に関する研究
野村昌男, 片山卓也 (北陸先端大)
- (14) リポジトリを用いたソフトウェア仕様記述の支援環境
蜂巢吉成 (南山大)

◆第71回 アルゴリズム研究会 (発表件数: 11件)

(主査: 加藤直樹, 幹事: 田中圭介, 玉木久夫, 松井知己)

日時 平成12年1月17日 (月) 10:00~17:00

会場 大阪大学 基礎工学部 国際棟 (シグマホール)

[豊中市待兼山町1-3. 阪急(宝塚線): 石橋下車, 徒歩約25分.
または大阪モノレール: 柴原下車, 徒歩約10分. <http://www.es.osaka-u.ac.jp/route.html>. 連絡先: 岩田 寛, 牧野和久 (大学院基礎工学研究科) E-mail: iwata,makinol@sys.es.osaka-u.ac.jp Tel(06)6850-6351 Fax(06)6850-6341]

議題

[10:00~12:00]

- (1) 並列型全文検索システム構築のための手法の提案とその評価
澤田雅人 (阪大), 竹野 浩 (NTT)
藤本典幸, 萩原兼一 (阪大)
- (2) タスク複製率とプロセッサアイドル率に着目したBSPスケジューリング生成手法の提案
森 雅博, 橋本貴至, 西村晃一
藤本典幸, 萩原兼一 (阪大)
- (3) タスクスケジューリングを用いた並列プログラム生成におけるタスク粒度の調整とその評価
橋本貴至, 森 雅博
西村晃一, 藤本典幸, 萩原兼一 (阪大)
- (4) 分割統治法アルゴリズムの効率的な並列化手法とそのコンパイルの実装
中島大輔, 藤本典幸, 萩原兼一 (阪大)

[13:00~17:00]

- (5) Fast Parallel Approximation Algorithms for Maximum Weight Matching Problem
上原隆平 (駒澤大)
- (6) Completely independent spanning trees in the underlying graph of a line digraph
蓮沼 徹 (電通大)
- (7) 容量制限付きk-center問題の近似解法の実験的評価
小谷智明, 山口一章, 増田澄男 (神戸大)
- (8) 複雑な幾何計算の不要なボロノイ図あてはめ法
神田 毅 (東大)
- (9) 1品種1パス多始点多品種流における最小費用流問題の近似アルゴリズム
浅野泰仁 (東大)
- (10) 葉数最適整列法LOASの実用化に向けて
伍 偉鴻 (早大), 二村良彦 (早大)
- (11) GBD木における線分の分割法の改良
伊野敦士, 増田澄男, 山口一章 (神戸大)

◆第27回 プログラミング研究会 (発表件数: 14件)

(主査: 上田和紀, 幹事: 天海良治, 伊知地宏, 柴山悦哉)

日時 平成12年1月18日 (火) 9:00~16:45

19日 (水) 9:30~15:15

会場 エッカホテル

[那覇市天久1068-9. 那覇空港より路線バス (124番, 知花線): 東急ホテル前 (約30分, 200円) 下車, 徒歩2分. または空港よりタクシーで約15分 (約1,100円). Tel(098)867-5111 Fax(098)868-1783]

議題 特集: 並列・分散処理, および一般

1月18日 (火)

[9:00~12:15]

- (1) 楽譜によるプログラミングにむけた紙の上の楽譜認識
伊知地宏, 尾河 裕 (富士ゼロックス)
- (2) 空間情報の抽象化について
高橋和子 (三菱電機)
- (3) 非分かつ書き日本語プログラミング言語のための構文解析手法
鈴木 弘 (都立航空高専/慶大)
- 今城哲二 (日立/奈良先端大), 中鉢欣秀, 大岩 元 (慶大)
- (4) 関数単位疑似逆実行の高速化
丸山一貴, 寺田 実 (東大)
- [13:30~16:45]
- (5) ファーストクラス環境による単一化機構の関数型言語への組み込み
西崎真也, 樋口貴志 (東工大)
- (6) 文脈計算の環境計算による解釈
櫻田英樹 (NTT)
- (7) マルチエージェントパラダイムと宣言的通信ストリームに基づく並列言語
大野和彦, 岡野孝典, 山本繁弘, 中島 浩 (豊橋技科大)
- (8) 並列言語CLIPの実装
柳瀬龍郎, 奥川峻史 (福井大)

1月19日 (水)

[9:30~11:45]

- (9) An equational relation for Ambient Calculus
Toru Kato (Japan Society for the Promotion of Science/
Okayama Univ.)
- (10) 古典線形論理の計算的解釈に基づく関数型言語の並列実行モデル
佐藤伸也, 杉本 徹 (東理大)
- (11) 線型論理による並行計算の多次元表記環境の実装とその評価
明比英高, 村上昌己 (岡山大)

[13:00~15:15]

- (12) ネイティブコード実行に基づいたWWW上のモバイルコード実行方式
板橋一正, 松原克弥, 森山 豊, 染谷祐一 (筑波大)
加藤和彦 (筑波大/科学技術振興事業団)
- (13) モバイルメモリセグメントを用いたモバイルプログラミング言語の系統的実現法
関口龍郎, 米澤明憲 (東大)
吉田雅年, 松原克弥 (筑波大)
加藤和彦 (筑波大/科学技術振興事業団)
- (14) CORBAアプリケーション開発におけるリフレクションの有効性
藤枝和宏, 渡部卓雄, 落水浩一郎 (北陸先端大)

*電子情報通信学会 (コンピュータシミュレーション研究会, ソフトウェアサイエンス研究会, コンカレント工学研究会) との同時, 連続開催.

*照会先: 村上昌己 (岡山大)
E-mail: murakami@momo.it.okayama-u.ac.jp Tel(086)251-8180 Fax(086)251-8256

*会場の使用料は宿泊者対象の料金が適用されるため, 研究会参加者はできるだけ会場のエッカホテルに宿泊していただきますようお願いいたします (下記参照).

*宿泊のご案内: エッカホテル 料金 (一泊朝食付, 税金・サービス料込): 8,400円 (シングル), 6,300円 (ツイン), 取扱期間: 平成12年1月17日 (月) ~1月19日 (水), 申込先: 日本旅行沖縄 (担当: 柴崎健太郎) E-mail: mntaoka@nirai.ne.jp Tel(098)862-3355 Fax(098)869-4705

◆第34回 グループウェア研究会 (発表件数: 9件)

(主査: 岡田謙一, 幹事: 清末悌之, 垂水浩幸, 坂内祐一)

日時 平成12年1月20日 (木) 10:00~17:20

会場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)

議題

[10:00~12:00]

- (1) 開放型の環境に適したワークプロセス・コーディネーションモデル
上野裕一, 増田佳弘, 山田敏哉
堀井克倫 (富士ゼロックス)
- (2) PDAを用いたデータの収集とセンター業務への適用
泉 裕, 上原哲太郎, 宗森 純 (和歌山大)
吉野 孝 (鹿児島大), 吉本富士市 (和歌山大)

- (3) 脳モデル超伝達機構
宗森 純 (和歌山大), 岡田謙一 (慶大)
- [13:00~17:20]
- (4) Proxyサーバを利用した新たなサービスの可能性について
村瀬茂樹, 北 英彦, 林 照峯 (三重大)
- (5) Web対話チャネルと電話対話チャネル間の連携を図るWeb-CTI統合システム

- 湯本一磨, 星 徹 (日立), 高橋 亨
松野秀巳 (日立インフォメーションテクノロジー)
東 潔司, 杉垣かおり (日立中部ソフトウェア)
- (6) WWW上の戸口伝言板の運用と今後の課題 権藤広海
瀬川典久 (岩手県立大), 中本泰然 (広島市立大)
村山優子, 宮崎正俊 (岩手県立大)
- (7) 携帯電話端末での利用を想定したチャットメーリングリストシステム
坂田一拓, 倉島顕高, 市村重博 (NEC)
- (8) チャットへの掲示板新着情報通知機能の設計
岩山 登 (富士通研)
- (9) オープンソースソフトウェア開発におけるイノベーションの分析
山内 裕 (京大), 横澤 誠, 篠原 健 (京大/野村総研)

◆第120回 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 (発表件数: 11件)

(主査: 池内克史, 幹事: 佐藤洋一, 塩原守人, 中村裕一)

日 時 平成12年1月20日 (木) 13:00~16:45
21日 (金) 9:00~11:55

会 場 NTT京阪奈ビル内コミュニケーション科学基礎研究所 D棟4F CS研企画 デモルーム
[京都府相楽郡精華町光台2-4. 近鉄 (奈良線): 学園前下車, タクシー (20分), または近鉄 (京都線): 高の原下車, タクシー (10分), または新祝園下車, バス (15分), またはJR (学研都市線): 祝園下車, バス (15分). 路線バス・地図につきましては, 下記HPをご参照ください. <http://www.kecl.ntt.co.jp/visitor/keihan.html> Tel(0774)93-5018 Fax(0774)93-5015 (山岸). 照会先: 萩田紀博 (NTTコミュニケーション科学基礎研) E-mail:hagita@cslab.kecl.ntt.co.jp Tel(046)240-5210 Fax(046)270-2359]

議 題

1月20日 (木)

[13:00~16:45]

- (1) 中心視一周辺視モデルによるステレオ画像の対応点探索
池田 昇, 中村康弘 (防衛大)
- (2) 対応点の確度分布を考慮した多眼画像からの奥行き推定
今泉浩幸, 蓼沼 真, 片山美和, 金次保明 (NHK)
- (3) 形状空間への直交射影行列と判別基準を用いた複数運動の検出
市村直幸 (電総研)
- (4) オプティカルフローへのミクスチャモデルのあてはめによる動画像からの3次元形状と動きの推定
今泉竜一, 本谷秀堅, 出口光一郎 (東大)
- (5) 葉の輪郭の形状の構造的特徴を用いた葉の形状の分類法
任 哲弘 (東大)
- (6) 拡散による輪郭線長の変化に基づく図形形状の複雑さの評価
長谷川善久, 出口光一郎 (東北大)

○ [18:00~] 懇親会 (PRMU合同)

1月21日 (金)

[9:00~11:55]

- (7) 基礎行列の分解: 焦点距離の直接的表現
金谷健一 (群馬大), 松永 力 (朋栄)
- (8) フロー基礎行列の分解: 自己校正法の群論的方法
金谷健一 (群馬大), マイケル・J・ブルックス (アデレード大)
- (9) 薔薇の品種と成長特性を考慮した花卉の微視的構造に基づく反射・透過モデルとCG画像生成
立野竜也, 剣持雪子, 小谷一孔 (北陸先端大)
- (10) 汎用3D-2Dレジストレーション手法とその応用例
喜多泰代 (電総研), D. L. Wilson

J. A. Noble (Oxford Univ.), 喜多伸之 (電総研)

(11) 道路追跡のための平行性拘束を持つ動的輪郭モデル
川崎剛照, 八木康史, Michael Brady, 谷内田正彦 (阪大)

○ [12:00~12:30] NTTコミュニケーション科学基礎研究所デモ

◆第45回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 柴山 守, 幹事: 加藤常員, 門林理恵子, 原正一郎)

日 時 平成12年1月21日 (金) 9:30~17:20

会 場 長崎総合科学大学 情報科学センター
[長崎市網場町536. JR (長崎本線): 長崎下車, バス (網場行): 長崎総合科学大学前下車 (30分). <http://www.nias.ac.jp/yoko/access/access.html> をご参照ください.
E-mail:yoko@cc.nias.ac.jp Tel(095)838-5152 Fax(095)839-4400 (横山正人)]

議 題

[9:30~11:50]

- (1) 古文書翻刻支援システム開発プロジェクト報告 (1) - プロジェクト概要 -
山田奨治 (日文研), 加藤 寧 (東北大)
川口 洋 (帝塚山大), 原正一郎 (国文研), 石谷康人 (東芝)
柴山 守 (大阪市大), 笠谷和比古 (日文研)
小島正美 (東北工大), 梅田三千雄 (大阪電通大)
山本和彦 (岐阜大)
- (2) ニューラルネットワークを用いた古文書個別文字認識に関する一検討
和泉勇治, 加藤 寧, 根元義章 (東北大)
山田奨治 (日文研), 柴山 守 (大阪市立大)
川口 洋 (帝塚山大)
- (3) 前方後円墳のための編年座標図の試作と検討
小沢一雅 (大阪電通大)
- (4) 個性的な日本字署名のデザイン
吉村ミツ, 森 句子 (名古屋市立大)
吉村 功 (東理大), 押木秀樹 (上越教育大)

[13:00~17:20]

- (5) キャプションと画像特徴に基づく類似画像検索
伊藤広和, 八村広三郎 (立命館大)
- (6) QuickTime VRを用いた博物館資料のX線写真表示の試み
山本泰則 (民博)
- (7) 遠隔教育による線形代数教育プログラムの開発
宮崎佳典 (静岡産大), 池辺八洲彦 (会津大)
- (8) 文化史上より見た関-Sarrusの公式について
藤野清次 (広島市立大), 阿部剛久 (芝浦工大)
- (9) 印欧語根を用いたハイパー英単語辞書の公開
大出 真 (筑波大), 池辺八洲彦 (会津大), 蔡 東生 (筑波大)
- (10) 平安時代の文学作品における形容動詞対象語彙データベースの構築とそれを用いた語彙論的研究
村田菜穂子, 岩田俊彦 (大阪国際女子短大)
- (11) 和歌データからの類似歌発見のための類似性指標について
玉利公一, 竹田正幸 (九大)
福田智子 (福岡学院大), 南里一郎 (純心女子短大)
- *20日の研究会前日に, 懇親会を予定しております. 参加希望者は, 1月14日 (金) までに加藤 (kato@ktlab.osakac.ac.jp) までE-mailにてご連絡ください.

◆第7回 コンピュータセキュリティ研究会

(発表件数: 7件)

(主査: 土居範久, 幹事: 岡本栄司, 佐々木良一, 林誠一郎)

日 時 平成12年1月21日 (金) 13:00~17:00

会 場 富士通 クロスカルチャーセンター
[川崎市中原区下小田中1-14-1. JR (南武線): 武蔵中原下車, 徒歩5分. Tel(044)754-5500. 詳細は<http://www.ipsj.or.jp/sig/csec>または, http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/fie/fie_hp/lecture/map_fcc.html (地図) 参照]

議 題

- (1) UNIXワークステーションにおける不正利用者の判別方法
中國真教, 堂 蘭 浩, 原 重臣, 野口義夫 (佐賀大)

- (2) 多面的ビューを持つインターネットサーバセキュリティ管理支援システムの提案
磯川弘実, 萱島 信
寺田真敏 (日立), 中野喜之 (日立中部ソフトウェア)
山崎隆行 (日立情報ネットワーク)
- (3) 分散ネットワークサービス管理のためのセキュア通信基盤の開発
寺田真敏, 萱島 信
磯川弘実, 中野喜之, 山崎隆行 (日立)
- (4) サーバ証明書の有効性を確認するSSL/TLS通信プロトコルの改良とその評価
藤永卓人, 木村成伴, 海老原義彦 (筑波大)
- (5) 耐タンパー化ソフトウェアの強度評価法について
松村憲二郎, 後藤英昭, 満保雅浩, 静谷啓樹 (東北大)
- (6) 顔認識システムにおける照明変動の影響とその改善手法
春山 智, 坂野 鋭, 武川直樹 (NTTデータ)
- (7) 静止画の著作権保護システム
平野秀幸, 小谷誠剛, 小野越夫 (富士通研)

◆第120回 データベースシステム研究会

(発表件数: 25件)

(主査: 清木 康, 幹事: 赤間浩樹, 河野浩之, 角谷和俊, 遠山元道)
日 時 平成12年1月24日 (月) 9:00~17:55
25日 (火) 9:00~12:05

会 場 神戸ファッションマート 9F
[神戸市東灘区六甲アイランド. JR:住吉 (大阪駅より快速で約19分, 三ノ宮駅より約7分) 下車, 六甲ライナー: アイランドセンター下車 (約8分). または, 阪神:魚崎 (梅田駅より快速急行で約30分) 下車, 六甲ライナー: アイランドセンター下車 (約6分). E-mail:sumiya@kobe-u.ac.jp
Tel/Fax(078)803-6315 (角谷和俊)]

議 題 特集「空間メディアとGIS」および一般

1月24日 (月)

[9:00~12:05] ●一般 (1)

- (1) 可変なカテゴリ構造を用いた文書検索支援手法の実験的評価
岩崎正秀, 仲川こころ, 高田喜朗, 関 浩之 (奈良先端大)
- (2) サイトーション・エンジン: リンク解析を用いたWWW検索ランキングシステム
高野 元, 久保信也 (NEC)
- (3) 語の出現位置の視覚的記憶に基づく既読文書の問合せにおける索引構造の考察
日高宗一郎, 加藤弘之, 大山敬三 (学情センター)
- (4) 半構造データからのマイニングと知識統合
丸山紘平, 上原邦昭 (神戸大)
- (5) データ圧縮型インデックスVA-TREEの検討
吉田忠城, 小西史和, 赤間浩樹, 山室雅司 (NTT)
- (6) コンパクトなグラムベース索引-可変長グラムの固定長コーディング
佐藤隆士, 杉原和郎, 八田 直, 平岩浩司 (大阪教育大)
- (7) 不完全多次元データベースにおける集約可能性
石井 拓, 上林禰彦 (京大)

[13:00~16:30] ●一般 (2)

- (8) 一貫性情報を用いたマルチバージョン並行処理制御
海 燕 (福岡工大), 古川哲也 (九大)
史 一華 (福岡工業短大)
- (9) タプル間の依存関係を表現できる確率的データベースモデルの提案
財部倫孝, 清水将吾 (奈良先端大)
石原靖哲 (阪大), 伊藤 実 (奈良先端大)
- (10) 入力要素を保存する集約に基づくビューへの問合せ最適化手法
加藤弘之 (学情センター), 吉川正俊 (奈良先端大)
大山敬三 (学情センター), 植村俊亮 (奈良先端大)
- (11) 動画像の特徴量を用いた意味的構造の自動検出
谷澤和昭, 上原邦昭 (神戸大)
- (12) データベースを中心とした番組制作支援システム
住吉英樹, 有安香子, 望月祐一, 佐野雅則, 井上誠喜 (NHK)
- (13) 番組記述言語TVMLを使った情報の番組化
林 正樹 (NHK)
- (14) Web情報の番組化のためのオーサリング機構

灘本明代, 服部多栄子, 近藤宏行, 田中克己 (神戸大)
(15) ダイジェスト説明文生成方式についての検討

橋本隆子, 白田由香利
飯沢篤志 (次世代情報放送システム研/リコー)
[16:40~17:55] ●空間メディアとGIS (1)

- (16) 分散オブジェクト対応GISのITS通信施設管理システムへの適用性検討
谷崎正明, 嶋田 茂, 平岩賢志 (日立)
- (17) 環境デザインにおける添景オブジェクトデータベースに関する考察
加賀有津子 (アーバン・エース)
上善恒雄 (千里国際情報事業財団), 呉 受妍 (阪大)
福田知弘 (松下電工), 笹田剛史 (阪大)
- (18) 詳細度制御とランドマーク計算に基づく空間プレゼンテーション
小磯健吾, 河岸洋暁, 森 美帆, 田中克己 (神戸大)

1月25日 (火)

[9:00~12:05] ●空間メディアとGIS (2)

(19) ディレクトリを用いた情報提供に関する一手法-地図情報への適用-

- 星野 隆, 長谷川靖, 池田哲夫, 星 隆司 (NTT)
- (20) 力学モデルに基づく地理情報の動的表示手法
佐藤 聡 (広島市立大), 有川正俊 (東大)
- (21) 陸面植生シミュレータと連携した地球環境データベース可視化システムの開発
生駒栄司, 喜連川優 (東大)
- (22) 拡張凸胞複体を基礎とする空間データ表現モデルとその地理情報データベースへの応用
牧之内顕文 (九大)
黒木 進 (広島市立大), 尾下真樹 (九大)
- (23) ビット埋め込みR木: 地図DBへの応用を考えた多次元データ構造
松本圭司, 奥原 厚, 川越恭二 (立命館大)
- (24) Parallel R-tree Spatial Join: A Performance Analysis
Lawrence Mutenda, Masaru Kitsuregawa (東大)
- (25) ジオリアレンス情報を用いた空間情報媒介機構
相良 毅, 有川正俊, 坂内正夫 (東大)

* 関西データベース協議会「GIS/電子地図の会 最新技術フォーラム」と共催。

* 最新プログラムについては以下のURLをご参照ください。
<http://www.ai.cs.kobe-u.ac.jp/~sumiya/DBS120.shtml>

◆第135回 自然言語処理研究会 (発表件数: 24件)

(主査: 松本裕治, 幹事: 宇津呂武仁, 武田浩一, 永田昌明)
日 時 平成12年1月27日 (木) 10:00~17:15
28日 (金) 9:30~16:45

会 場 広島市立大学 情報科学部 講堂小ホール
[広島市安佐南区大塚東3-4-1. アストラムライン: 大塚下車, バス (広島市立大学行): 広島市立大学下車 (約3分).
<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/japanese/Guide/index.html>参照. E-mail:aizawa@its.hiroshima-cu.ac.jp
Tel/Fax(082)830-1768 (相沢輝昭)]

議 題

1月27日 (木)

[10:00~12:00] ●文書検索

- (1) 参照重要度に基づくWWW検索
大野潮満, 黄瀬浩一, 松本啓之亮 (大阪府立大)
- (2) 窓関数を用いた部分テキスト検索-出現密度法とベクトル空間法の比較-
水野浩之, 黄瀬浩一, 松本啓之亮 (大阪府立大)
- (3) 教師あり学習によるベクトル空間モデルの精度改善
台 暁英, 北 研二 (徳島大)
- (4) ランダム・プロジェクションによるベクトル空間モデルの次元削減
佐々木稔, 北 研二 (徳島大)

[13:00~15:00] ●用語抽出

- (5) 辞書式優先順位に基づく日本語固有表現抽出
磯崎秀樹 (NTT)
- (6) 医学生物学分野からの専門用語の抽出・分類
合原 博, 宮田高志, 松本裕治 (奈良先端大)
- (7) 文字列が単語となる確率を用いた未知語抽出
池谷昌紀, 新納浩幸 (茨城大)

- (8) コーパスからの語順の学習
内元清貴, 村田真樹, 馬 青, 内山将夫 (通信総研)
関根 聡 (ニューヨーク大), 井佐原均 (通信総研)
- [15:15~17:15] ●言語分析
- (9) 長い文は常にわかりにくいのか? ~わかりにくさの要因とその依存関係
乾 裕子 (九工大/計量計画研), 岡田直之 (九工大)
- (10) 日英機械翻訳のためのゼロ代名詞の補完手法
竹井みつこ, 高田美佳, 相沢輝昭 (広島市立大)
- (11) ホームページ上で動く範疇文法を使ったパーザーの開発
風斗博之 (東北学院大)
- (12) 配列アラインメントを用いた形態素レベルでの逸脱解消
中本泰然, 目良和也, 相沢輝昭 (広島市立大)
- [17:20~] ○広島市立大学の紹介
- [18:00~] ○懇親会
- 1月28日 (金)
- [9:30~12:00] ●要約・言い換え
- (13) 重要文抽出と要約との差異に基づく要約手法の調査
望主雅子 (リコー), 荻野紫穂 (日本IBM)
太田公子, 井佐原均 (通信総研)
- (14) 文章要約のための特徴キーワードの発見による重要文抽出法-展望台システム-
砂山 渡, 谷内田正彦 (阪大)
- (15) SD式意味モデルによる文書の自動要約
小柳 貴, 新見道治, 河口英二 (九工大)
- (16) 格変換による単文の言い換え
近藤恵子, 佐藤理史, 奥村 学 (北陸先端大)
- (17) 聾者向け読解支援システムの開発に向けて~構文的言い換えの効果に関する調査~
山本聡美 (九工大)
乾健太郎 (九工大/科学技術振興事業団)
野上 優, 藤田 篤, 乾 裕子 (九工大)
- [13:00~15:00] ●統計手法
- (18) 次発話予測モデルによる音声認識候補の再順序付け
岩本秀明 (ATR)
- (19) 統計的手法による換喩解析
内山将夫, 村田真樹
馬 青, 内元清貴, 井佐原均 (通信総研)
- (20) 日本語形態素解析のクラス分類問題への変換とその解法
新納浩幸 (茨城大)
- (21) Clustering Similar Words for Curing Data Sparseness
呉 浩東, 東 孝博, 松丸壽雄 (獨協大)
- [15:15~16:45] ●機械翻訳・質問応答
- (22) 翻訳ルールの意味制約と目的言語共起情報を併用した訳語選択
麻野間直樹, 中岩浩巳 (NTT)
- (23) 学習型機械翻訳手法GA-ILMTにおける状態遷移の導入について
越前谷博, 荒木健治, 桃内佳雄, 柄内香次 (北大)
- (24) 類似度に基づく推論を用いた質問応答システム
村田真樹, 内山将夫, 井佐原均 (通信総研)

◆第87回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 9件)

(主査: 間瀬健二, 幹事: 大野健彦, 椎尾一郎, 増井俊之)

日 時 平成12年1月28日 (金) 10:30~17:00

会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)

[<http://siio.ele.eng.tamagawa.ac.jp/sighi/87/> E-mail: siio@eng.tamagawa.ac.jp Tel(042)739-8413 Fax(042)739-8858 (椎尾一郎)]

議 題 小特集「バリアフリーとユニバーサルデザイン」および一般

[10:30~12:00] ●一般

- (1) 分類体系と名詞句を用いた検索インタフェースの提案とその評価
石井 恵, 渡辺一成 (NTT)
- (2) 加速度による携帯端末向け状況センシング方式の開発
加藤清志, 芦田和正, 兼吉昭雄 (NEC)
- (3) 大規模サイトのナビゲーションを支援するパーソナライズサイトマップシステム
島村 栄, 高野 元, 神場知成 (NEC)

[13:45~15:15] ●小特集: バリアフリーとユニバーサルデザイン

- (4) 視覚補助のためのウェブページ要約技術
前田潤治, 小林 真 (IBM)
- (5) 次世代バリアフリーシステム
立花義博, 土屋和夫, 東海林みどり, 飯塚慎司 (IBM)
- (6) 音声対話を含むマルチ・モダル型ユーザ・インターフェースの在宅健康管理への適用
鳥原信一 (IBM)
- [15:30~17:00] ●一般
- (7) 字幕表示用言語VCMLの設計とその表示システムの開発
深田直秀, 渡邊括行, 杉山雅英 (会津大)
- (8) シナリオにもとづく設計法の現状分析
郷健太郎 (山梨大), John M. Carroll (Virginia Tech)
今宮淳美 (山梨大)
- (9) Kirifuki: 呼吸・吸気を利用したGUI操作環境の提案
伊賀聡一郎 (慶大)
伊藤英一 (神奈川県総合リハビリテーションセンター)
安村通晃 (慶大)

◆第36回 情報メディア研究会

◆第7回 電子化知的財産・社会基盤研究会

(発表件数: 10件)

IM: (主査: 上林憲行, 幹事: 岡林みどり, 久保田晃弘)

EIP: (主査: 森 亮一, 幹事: 工藤育男, 名和小太郎, 松本恒雄)

日 時 平成12年1月29日 (土) 10:00~17:00

会 場 一橋大学 国立東キャンパス 東2号館2201教室, 2301教室

[国立市中2-1. JR (中央線): 国立 (南口) 下車, 大学通り 徒歩約5分, *快速 (=各停) のみ停車. あるいはJR (南武線): 谷保下車, 徒歩30分, またはバス (国立駅行): 一橋大学下車. <http://www.hit-u.ac.jp/summary/traffic.htm> (地図) Tel(042)580-8503 (法学部民事法研究室), (042)580-8849 (松本研究室) *電話は前日まで]

議 題 小特集「ビット経済の制度と技術」

[10:00~12:00]

- (1) デジタルコンテンツ流通のあり方に関する意識調査
杉原芳正 (郵政省)
- (2) 情報の価値の変動と消尽概念
直井隆徳 (沖電気)
- (3) ネットワーク上のデジタルコンテンツ売買における無断複製回避の手法に関する一考察
中野 潔 (アスキー/立教大)
- (4) 不正コピー防止を考慮したコンテンツ販売システム
三宅延久 (NTT)

[13:00~17:00]

- (5) パネルディスカッション: デジタルコンテンツの権利と対価 (仮題) (13:00~14:25)
- (6) 著作権保護に応用される暗号技術
申 吉浩 (富士ゼロックス)
- (7) ネットワーク取引における電子認証局のモデルの提案
松田浩延 (関西大)
- (8) Java Card - An access to the Internet world
徐 一斌 (名大)
- (9) 分散協調型コミュニティ形成システムスピーチバルーン
斉藤隆之 (デジタル・ビジョン・ラボラトリーズ)
安齋利洋, 中村理恵子 (アーティスト), 村崎達哉 (コバルト)
- (10) 連画コラボレーションを支援するパノラマ空間ペイントシステム - The Wall 安齋利洋, 中村理恵子 (アーティスト)

研究会の取り扱い分野などについて

各研究会の取り扱い分野などの詳細は, 会誌2, 4, 8月号会告欄, または学会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/sig/bunya.html>) をご参照ください.

◆照会先 (社) 情報処理学会 調査研究担当

*****研究会 論文募集*****

発表申込方法 研究会発表申込書の様式で、発表題目、発表者名(登壇者に○)、略称所属、概要(50字程度)、発表申込者連絡先(住所、氏名、Tel、Fax、E-mail)を明記の上、各研究会照会先までE-mailまたはFaxで直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は、事務局研究会担当宛(E-mail:sig@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534)に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

◆計算機アーキテクチャ研究会

◆ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

上記2研究会の合同研究会をHOKKE-2000と題して下記のとおり開催いたします。今回は、Linux、Solaris x86、WinNT等のOS、さらにSMPの登場等で活気づくパーソナルコンピュータに焦点を当て、これらを用いたハイパフォーマンスコンピューティングは可能か、というテーマで発表募集をいたします。多数の発表申込をお待ちしております。

日 程 平成12年3月2日(木)・3日(金)

会 場 千歳科学技術大学

議 題 第7回「ハイパフォーマンスコンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する北海道ワークショップ(HOKKE-2000) -PC for HPC(PCによるHPC) -

発表申込締切 平成11年12月31日(金)

照 会 先 E-mail:Hokke-Apply@etl.go.jp

必要事項をお書きの上、E-mailにてお申し込みください。申込フォーマットは下記URLより入手可能です。

<http://phase.etl.go.jp/sighpc/hokke-apply.txt>

*発表内容について:本共催研究会の特集テーマである「PC for HPC(PCによるHPC)」を優先的に受け付けてさせていただきます。従来の「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する発表も受け付けますが、会場と時間の制約から、このテーマから大きくかけ離れる発表内容については次回以降の研究会にお願いする場合がありますので、ご承知おきください。また、発表件数が多数の場合は調整させていただくこともありますので、ご了承ください。

◆グループウェア研究会

日 程 平成12年3月9日(木)・10日(金)

会 場 北陸先端科学技術大学院大学

<http://www.jaist.ac.jp/index-jp.html>

議 題 「アウェアネス」および一般

発表申込締切 平成11年12月27日(月)

照 会 先 野村恭彦(富士ゼロックス)

E-mail:Takahiko.Nomura@fujixerox.co.jp

Tel(03)3585-0640 Fax(03)3585-8221

*日本バーチャルリアリティ学会(サイバースペースと仮想都市研究会)と共催。

*できるだけE-mailをお願いします。申込後返信がない場合にはご連絡ください。

◆ソフトウェア工学研究会

日 程 平成12年3月9日(木)・10日(金)

会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)

発表申込締切 平成11年12月24日(金)

照 会 先 鈴木正人(東工大)

E-mail:suzuki@cs.titech.ac.jp

Tel(03)5734-2810 Fax(03)5734-3900

*できるだけE-mailをお願いします。

*詳細は研究会ホームページをご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/sig/se/>

◆アルゴリズム研究会

日 程 平成12年3月21日(火)

会 場 NTT情報流通プラットフォーム研究所

発表申込締切 平成11年12月30日

照 会 先 玉木久夫(明大) E-mail:tamaki@cs.meiji.ac.jp

Tel/Fax(044)934-7478(直通)

◆情報学基礎研究会(FI)

◆自然言語処理研究会(NL)

日 程 平成12年3月21日(火)・22日(水)

会 場 横浜国立大学 工学部

テ マ 自然言語処理と情報検索・文書処理

発表申込締切 平成11年12月24日(金)

照 会 先

FI:福島俊一(NEC) E-mail:fuku@HML.CL.nec.co.jp

Tel(0743)72-3756 Fax(0743)72-3549

NL:松本裕治(奈良先端大)

E-mail:nl-ipsj-submit@cl.aist-nara.ac.jp

Tel(0743)72-5240 Fax(0743)72-5249

*できるだけE-mailでの申込みをお願いします。

*E-mailには返信しますので、返信のない場合はご連絡ください。

◆マルチメディア通信と分散処理研究会

◆コンピュータセキュリティ研究会

日 程 平成12年3月21日(火)・22日(水)

会 場 日本IBM東京基礎研究所(神奈川県大和市)

<http://www.trl.ibm.co.jp/projects/s7000/trlmap.htm>

発表申込締切 平成11年12月24日(金)

照 会 先

DPS:曾谷俊男(IBM) E-mail:souya@trl.ibm.co.jp

Tel(0462)73-4614 Fax(0462)73-7413

CSEC:梶窪孝也(東芝)

E-mail:totikubo@sitc.toshiba.co.jp

Tel(042)340-6651 Fax(042)340-6066

*できるだけE-mailをお願いします。E-mailには返信しますので、返信のない場合にはご連絡ください。

◆プログラミング研究会

本研究会では、平成10年度から研究会論文誌の創刊にともない、研究報告(研究会資料)の廃止を中心として、研究発表会および発表申込みの方法が大きく変更されました。発表申込みは研究会論文誌への投稿に直結していますので、研究会ホームページをご参照のうえ、本研究会の申込方法に従ってお申し込みください。

日 程 平成12年3月23日(木)・24日(金)

会 場 筑波大学大塚キャンパス(東京都文京区)

議 題 特集:プログラミング言語一般

*特集テーマ以外の一般発表も受け付けます。

発表申込締切 平成11年12月24日(金)

発表論文原稿提出締切 平成12年3月3日(金)

照 会 先 天海良治(NTT)

E-mail:amagai@t.onlab.ntt.co.jp

Tel(0422)59-2353 Fax(0422)59-3765

*できるだけE-mailをお願いします。

*申し込み後返信がない場合はご連絡ください。

*プログラミング研究会HP <http://www.ipsj.or.jp/sig/pro>

◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会

日 程 平成12年3月23日(木)

会 場 東京大学生産技術研究所

発表申込締切 平成12年12月31日(金)

照 会 先 塩原守人(富士通研)

E-mail:shio@flab.fujitsu.co.jp

Tel(044)754-2679 Fax(044)754-2347

*申込受付後に受付済通知をお送りしますので、通知のない場合にはご連絡ください。

◆高度道路交通システム研究グループ研究発表会

下記の通り研究発表会を開催します。皆様のご発表をお待ちしています。奮ってお申し込みください。

なお、発表内容は、研究成果の発表のみならず、最新技術の紹

介、国際会議やデモの報告、問題提起など（これらに限らない）、幅広い種類を対象とします。

また、今回、同じ場所で、電子情報通信学会のITS研究会が並行して開催されます。

日 程 平成12年3月3日（金）

会 場 NTT武蔵野研究センタ（三鷹）

テ ー マ ITS全般

申込締切 平成11年12月27日（月）

照 会 先 小花貞夫（KDD研） E-mail:obana@lab.kdd.co.jp
Tel(0492)78-7320 Fax(0492)78-7510

〒356-8502 埼玉県上福岡市大原2-1-15

申込方法 以下の必要事項を記入し、上記申し込み先に送付してください（できるだけ、E-mailをお願いします）。

論文名、著者名（所属）、連絡者名、連絡者住所、電話番号、Fax番号、E-mail、MLへの登録：□希望しません（希望しない場合のみチェック）、要旨（100字以内）

備 考 1) 申し込み受け付け時に受理確認のメールを返信しますので、必ず確認してください。2) 原稿の提出については、申し込み後別途ご案内します。通常、発表の3～4週間前が原稿提出日となります。原稿の形式は、情報処理学会研究報告フォーマットで8ページ以内とします。3) 発表をお申し込みの方は自動的にITSメーリングリスト（ML）に登録されます。登録された方には、ITS研究グループの活動やITSに関連する情報が電子メールで配布されます。登録を希望しない場合には、上記必要事項にチェックしてください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「高度交通システム研究会」発足のお知らせ

目 的

自動車が発明されてから100年あまりが経過し、自動車は日常生活になくてはならないものになっています。しかし、渋滞による時間の損失や環境汚染、事故などといった問題は根本的な解決方法を見出せないまま現在に至っています。

また、交通・輸送に課せられた最大の使命である、人や物のモビリティ向上のためには、自動車のみならず、鉄道、航空、バス等の公共交通から自転車、歩行を含むあらゆる輸送手段の役割分担と円滑な相互連携（インターモーダリティ）が必須であり、従来から交通工学、都市計画などの分野で研究されてきました。しかし、その実現手段については十分な検討は行われてきませんでした。

今後は、計算機の小型化、高速化、省電力化やGPS（Global Positioning System）によるナビゲーションシステムなどの普及にみられるように、情報分野の技術発展により、よりインテリジェントな交通環境の実現を目指して研究が進められていくものと思われます。ITS（Intelligent Transport System）は、情報技術の面から、現在の自動車交通をはじめとする交通システムにおけるさまざまな問題点に関して、統合的なアプローチでその解決を目指すものです。本技術分野は、世界的な自動車の普及を背景に、物流における自動車交通の重要性の上昇、ナビゲーションシステム、VICSなどによる自動車の高知能化、そしてコンピューティング環境の進歩により、1980年代後半から1990年代にかけて、重要な新規テーマとして確立されました。また、通信、画像認識、機械工学、交通工学などのさまざまな学会においてセッションとして取り上げられるとともに、各国で国家的なプロジェクトとなっており、21世紀初頭における重要な研究テーマであると考えられます。日本においても、1994年設立のVERTISを始めとして、AHSRA、ARIB、HIDO、JSK、UTMS、VICSなどといった組織によって、研究開発が進められています。

このように、今後、特に重要になってくると思われる交通・輸送に関して、現状のさまざまな問題点を改善し、情報処理技術の進歩が反映されるべきであると考えられます。このため、ITSに関する研究の受け皿となり、その発展を担うことは、本学会の研究活動としてふさわしいものです。また、高度に情報化した社会

において、インテリジェント化の遅れている物流の分野における効率化、高知能化は社会全体のニーズを担うことは明白です。しかし、これらの問題の解決には、単なるアプリケーションの集合体ではなく、社会的理解と情報処理技術を活用した本質的な問題解決のアプローチが必須であり、幅広い知識を結集しなければ到底成し遂げ得ることはできません。

このような分野の研究は、分野として確立されてからはまだ日が浅いですが、各アプリケーション単体としては古くから行われており、それぞれにおいて活発な研究がすでに行われています。しかし、さまざまな問題に対して、グローバルな視点からその解決をはかろうとする場が十分に提供されているわけではありません。結果として、現時点では、グローバルな解決法が得られず、個別の研究の単なる集合体になってしまっています。これでは情報処理技術が十分に活用されたとはいえません。

計算機の能力が上がり、さまざまな情報が氾濫している中で、自動車もその例外ではありません。このような中で、氾濫する情報をグローバルな視点を持って扱い、アプリケーションが必要な情報を自由に取得、処理できるようなシステムティックな問題解決をはかることによって、初めて情報処理技術が自動車交通に対して、その真価を示すことができるものと信じます。

本学会での研究会の取り組みが、本当の意味でのITSにおける情報技術のあるべき姿を示し、より快適で安全な交通環境を作る上で重要な位置を占めることはほぼ間違いありません。また、情報通信技術を軸に、交通・輸送の各分野相互間の交流を通じて課題を共有することにより、交通・輸送の高度化が一層加速されることが期待されます。そのためにはITSの幅広い研究分野を情報処理技術の視点で横断的に扱うことが必要があります。

本研究会では、実用的で最先端の情報工学、自動車工学、交通工学、デバイス技術など幅広い分野の研究者が積極的に交流をはかれる場として、技術進歩をはかるとともに、将来の交通環境がどうあるべきか、またより安全で快適なシステムを構築するにはどうすれば良いかという問題について、解決方法を探ることを目的とします。単なる個々の技術にとどまらず、また日本という地域にこだわることなく、来る21世紀の高度情報通信社会において、交通分野をその情報社会の柱に据えるべく、高度に情報化するために努力する予定です。

さらに、交通環境における情報処理を考える場合には、国や地域によって異なる文化的側面を考慮に入れる必要があります。そのことを踏まえた上で、世界的な規模でのITSの研究に関する中核を担うような活動を意識していきます。研究会の発足はこのような国際活動を推進し、世界における情報処理研究へも大きく貢献するものと考えられます。

本研究分野については、平成10年7月に「高度道路交通研究グループ」を発足させ、先行して調査・研究を開始してきましたが、平成12年度からは本研究会へ移行します。

主な研究分野

- (1) 交通管理（商用車両運行システム、交通需要管理、車両管理、車群管理、渋滞予防、トラフィックのモデル化）
- (2) 運転支援（車両制御、運転補助システム、車群走行、自動運転道路システム、自律走行システム）
- (3) 画像処理（車線認識、障害物検知、渋滞検知、運転手状態認識）
- (4) 通信方式（無線通信、衛星通信、光通信、移動体通信、測距技術）
- (5) ネットワーク技術（ネットワークアーキテクチャ、プロトコル、ネットワーク管理/制御、セキュアな通信）
- (6) 情報提供（ユーザインタフェース、地図情報管理、経路探索、モバイル、グループウェア、エージェント）
- (7) アプリケーション（ナビゲーションシステム、自動料金収受、動的経路案内、旅行者支援、衝突回避）
- (8) インターモーダリティ（実時間接続ダイヤ調整）

提案者（50音順）

荒田良平（通産省）
伊東幸宏（静岡大）

井手口哲夫（愛知県立大）
井上友二（NTTデータ）

大河内正明 (日本IBM)	岡田和比古 (NTT)
荻野隆彦 (JR総研)	小澤慎治 (慶大)
片木孝至 (三菱電機)	片山 平 (NEC)
川崎弘太 (富士通)	川嶋弘尚 (慶大)
木村昌司 (建設省)	久米正一 (運輸省)
小泉寿男 (東京電機大)	小松尚久 (早大)
坂内正夫 (東大)	鈴木健二 (KDD研)
関 馨 (沖電気)	近久巖雄 (東芝)
遠山 智 (三菱自工)	時津直樹 (デンソー)
長尾 哲 (トヨタ)	中垣光弘 (AHS研究組合)
畑中 徹 (ホンダ)	浜田亘曼 (日立)
原島文雄 (都立科学技術大)	半田正利 (いすず)
廣田幸嗣 (日産)	藤瀬雅行 (通信総研)
松下 温 (慶大)	水野忠則 (静岡大)
宮内 充 (千葉工大)	屋代智之 (千葉工大)
吉田利博 (警察庁)	渡辺克也 (郵政省)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

平成12年度研究会登録費について

平成12年度の研究会は下記の登録費で活動を計画しております。研究分野、開催日程等の活動詳細、および新規登録申込書については2月号会告をご覧ください。

平成11年度に研究会登録をされている方は自動継続となっております。詳細については別途発送 (1月予定) する案内をご覧ください。

[コンピュータサイエンス領域]

○データベースシステム (DBS) :	4,725円
○ソフトウェア工学 (SE) :	4,515円
○計算機アーキテクチャ (ARC) :	4,725円
○システムソフトウェアと オペレーティング・システム (OS) :	4,935円
○システムLSI設計技術 (SLDM) :	5,145円
○ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC) :	4,515円
○プログラミング (PRO) :	2,940円
○アルゴリズム (AL) :	4,830円
○数値モデル化と問題解決 (MPS) :	3,885円

[情報環境領域]

○マルチメディア通信と分散処理 (DPS) :	4,725円
○ヒューマンインタフェース (HI) :	4,515円
○グラフィクスとCAD (CG) :	4,515円
○情報システムと社会環境 (IS) :	3,990円
○情報学基礎 (FI) :	4,095円
○情報メディア (IM) :	3,675円
○オーディオビジュアル複合情報処理 (AVM) :	3,150円
○グループウェア (GW) :	3,675円
○分散システム/インターネット運用技術 (DSM) :	3,990円
○デジタル・ドキュメント (DD) :	3,990円
◎モバイルコンピューティングと ワイヤレス通信 (MBL) :	3,570円

○コンピュータセキュリティ (CSEC) :	3,990円
●高度交通システム (ITS) :	4,830円

[フロンティア領域]

○自然言語処理 (NL) :	5,250円
○知能と複雑系 (ICS) :	4,725円
○コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM) :	4,935円
○コンピュータと教育 (CE) :	3,150円
○人文科学とコンピュータ (CH) :	4,620円
○音楽情報科学 (MUS) :	4,095円
○音声言語情報処理 (SLP) :	4,725円
○電子化知的財産・社会基盤 (EIP) :	4,305円
○ゲーム情報学 (GI) :	4,410円

●: 新設, ◎: 名称変更
※各研究登録費には消費税が含まれています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

平成12年度「研究会論文誌」年間購読のお知らせ

Vol.40 No.8の本欄にて「研究会論文誌」の頒布についてお知らせいたしました。このたび登録会員以外でも年間購読が可能 (現在以下の4誌を予定) となりました。

購読料等詳細につきましては、別途発送する「平成12年度会費、論文誌購読費および研究会登録費について (1月送付予定)」に同封する案内をご参照ください。

- ・情報処理学会論文誌: プログラミング
- ・情報処理学会論文誌: 数値モデル化と応用
- ・情報処理学会論文誌: データベース
- ・情報処理学会論文誌: ハイパフォーマンスコンピューティングシステム

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

行事No. S-FI2000

「2000年情報学シンポジウム」参加者募集

—ネットワーク型情報メディアの活用と情報を活かす新技術—

本シンポジウムは、ネットワーク化社会における情報の円滑な流通と高度な利用の促進を目的に、1984年以来毎年開催してまいりました。例年、研究・開発者と利用者が交流し、情報・知識の利用に関するアイデアや知見を交換する場として、多くの方々に参加いただいております。本年度も、以下の要領で開催いたしますので、奮ってご参加ください。

日 時 平成12年1月13日 (木) 9:30~17:15
14日 (金) 9:30~17:30

会 場 日本学術会議講堂 (東京都港区)

*参加申込の方には後日詳細を送付

共 催 日本学術会議 (情報学研究連絡委員会、情報工学研究連絡委員会)、情報処理学会、人工知能学会、日本医学会、日本化学会、日本数学会、日本地理学会、日本物理学会、情報知識学会、日本生物物理学会、日本ソフトウェア科学会

後 援 科学技術振興事業団、化学情報協会、学術情報センター、計測自動制御学会、情報科学技術協会、情報通信学会、電子情報通信学会、日本医療情報学会、日本機械学会、日本金属学会、日本原子力学会、日本材料科学会、日本材料学会、日本社会情報学会、日本生化学会、日本電信電話、日本動物学会、日本農学会、日本分子生物学会、日本分析化学会、日本薬学会

運営組織 情報処理学会情報学基礎研究会を母体とするシンポジウム実行委員会

参加費 (論文集代として) 共催学協会員: 10,000円

学生: 3,000円 非会員: 15,000円

*共催学協会会員の方は、お申し込みの際に所属団体および会員番号を明記ください。

*当日出席できない方のために論文集 (郵送) の申込も受け付けています。

申込方法 本号会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申し込みください。

参加申込締切 平成11年12月24日 (金)

*当日受付も歓迎しますが、資料不足の際は事前登録者を優先します。

申込/照会先 情報処理学会 調査研究担当 (シンポジウム係)

トピックス

近年インターネットを始めとする情報ネットワーク網が急速に整備され、企業活動から日常生活にいたるまで幅広く利用されるようになってきた。一方、情報を分かりやすく提示する情報可視化技術や大量の情報から有用な情報を引き出す知識発見・情報抽出などの技術も盛んに研究されてきている。これらの技術はまだ広く用いられるにはいたっていないが、その1つの要因は、技術の研究者が現実のニーズを把握しきれていないこと、また、利

用可能な技術の情報が利用者やシステム設計者に届いていないことにあると考えられる。そこで、今回のシンポジウムでは、情報の有効利用にかかわるトピックを、情報処理・知識処理などの技術的側面から、あるいは社会科学・教育学的側面等から取り組んだ講演を幅広く集め、システムの運用に基づく問題提起なども含め議論する。中心とするトピックは以下の通りである。

- (1) 情報の活用を支援する技術：知識発見、情報抽出、加工、分類・体系化、情報の可視化、情報検索・フィルタリング、エージェントなど
- (2) ネットワーク型情報メディアを活用したシステムおよび運用事例：医療・福祉、教育、電子図書館、行政、サービス、電子商取引、ナレッジマネジメント、情報共有、グループウェアなど
- (3) ネットワーク化社会を支える社会制度・環境の整備：著作権、セキュリティ、情報リテラシーの教育など

プログラム

1月13日(木)

○ [9:30~9:45] 組織委員長挨拶 土居範久
(日本学会会議情報学研究連絡委員会委員長/慶大)

● [9:45~11:00] Session1: インターネットによる情報発信

- (1) 招待講演：個人・小規模事業者の効率的なインターネット情報発信 橋本大也(アクセス向上委員会)
- (2) インターネットを利用したボランティア参加活性化の仕組み「タイムダラー」の例から 上杉志朗(阪大)

● [11:15~12:15] 基調講演

(3) ネットワーク型情報メディアとネット・ジェネレーション—モバイルとウェアラブル— 石井威望(東大)

● [13:15~15:20] Session2: ネットワークの活用

(4) 招待講演：医療の情報化とネットワーク化 大江和彦(東大病院)

(5) 内視鏡デジタル動画ファイリングシステム

永田 宏, 石川ベンジャミン光一(国立がんセンター)

鈴木光輝(オリンパスシステムズ)

池田 勝(オリンパス工学工業)

福田治彦, 山口直人, 吉田茂昭(国立がんセンター)

(6) JST高分子データベースPoLyInfoの開発

前田知子, 松田和宏, 土屋江里(JST)

長阪匡介, 吉成泰彦(三菱総研)

(7) BPCS-Steganography 技術とその応用に関する研究

野崎剛一(長崎大), 新見道治

野田秀樹, 河口英二(九工大)

● [15:35~17:15] Session3: ネットワーク・インタラクション

(8) 招待講演：知識ネットワーク社会における知識創造支援 西田豊明(東大)

(9) 情報提供者の視点に基づいたWebサイトからの知識発見 加藤裕樹, 中山雄大(富士ゼロックス)

(10) 対話型ネットニュースにおける「お薦め話題」の自動抽出 小作浩美, 内元清貴, 村田真樹, 井佐原均(通信総研)

1月14日(金)

● [9:30~12:00] Session4: ネットワーク情報化社会の展望

(11) デジタル経済と制度会計デザイン 藤原博彦(東大)

(12) 招待講演：情報通信技術の発展と法のゆらぎ—「情報法」の成立— 浜田純一(東大)

(13) 立教V-Campusの構築とその活用—大学におけるインターネット利用の新しい試み— 古瀬幸広, 下浦 享(立教大)

(14) 招待講演：サイバーのクモの子らはバーチャルに巣籠もることが出来るか—次世代にとってのネットワーク型メディア— 福村晃夫(中京大)

● [13:00~15:30] Session5: 情報検索・情報抽出

(15) 招待講演：情報検索・抽出技術の評価を巡る諸問題—第1回のNTCIR/IREXを終えて— 井佐原均(通信総研), 関根 聡(NYU)

(16) 概念情報に基づいたデジタル図書館のための情報検索手法 堀井千夏, 今井正和, 千原國宏(奈良先端大)

(17) 知識資産活用のための情報抽出

西野文人, 落谷 亮(富士通研)

(18) 英文契約文書の解析 相良かおる, 渡邊勝正(奈良先端大)

(19) キーワードの活性度の変化を用いたテキストセグメンテーション

高橋雅仁, 森澤慎一郎, 吉村賢治, 首藤公昭(福岡大)

● [15:45~17:25] Session6: 情報の可視化

(20) 招待講演：情報視覚化の研究動向 増井俊之(ソニーCSL)

(21) テキストマイニングによる問題構造の生成と可視化支援 土橋 喜(愛知大)

(22) 多種端末向けWebコンテンツ適用のための変換方式とオーサリングツール 近藤 豪, 小野康一, 堀 雅洋

北山文彦, 広瀬紳一, 久世和資(日本IBM)

● [17:25~17:30] 実行委員長総括 仲尾由雄(富士通研)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

行事No. S-DSM2000

「分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2000」参加者募集

インターネットに代表されるコンピュータネットワークを核とした分散システムの重要性はますます高まっており、ネットワークおよび分散システムの運用に対する新たな要求や、解決すべき課題は、多岐に渡っています。その一方で、新しい技術を用いた、より高度で高機能な分散システムに進化することも求められています。

LAN/Intranet 環境では、高度で多様な利用形態に柔軟に対応できるネットワークおよび計算機システムの構築および運用や、安全・安定なシステムを設計・構築し効率的に運用する技術の確立が求められています。広域環境では、さまざまな新しい伝送技術を用いたネットワークを設計・運用する技術、電子商取引を安全・円滑に実現するための技術が求められています。さらに、次世代通信プロトコルによるネットワーク構築・運用技術の確立も急務となっています。また、小中高校のインターネット接続の本格化に伴う運用技術の確立と普及も大きな課題です。

このような背景のもとで、本研究会では、下記要領にてシンポジウムを開催し、分散システムおよびインターネットの運用技術を中心に発表・討論を行います。多数の方のご参加を期待しております。

日 時 平成12年2月3日(木) 10:00~17:20
4日(金) 9:30~18:00

会 場 東京大学大学院 数理科学研究科

*参加申込の方には後日詳細を送付

主 催 情報処理学会 分散システム/インターネット運用技術研究会

参 加 費 会員：10,000円 研究会登録会員：8,000円

学生：4,000円 非会員：15,000円(いずれも論文集代込)

申込方法 本学会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申し込みください。

参加申込締切 平成12年1月21日(金)

申込/照会先 情報処理学会 調査研究担当(シンポジウム係)

プログラム(概要)

2月3日(木)

○ [10:00~10:10] 開会挨拶 大塚秀治(麗澤大)

● [10:10~11:10] セッション1: 大規模教育システム

招待講演：低TCOを目指した大規模教育用システムの設計

吉岡 顕, 田中哲朗, 安東孝二(東大)

● [11:20~12:20] セッション2: 分散システム運用管理技術

● [13:30~14:30] セッション3: IPマルチキャスト技術

招待講演：IPマルチキャスト実験/J/Splash

外山勝保(インターネットマルチフィード)

● [14:40~15:40] セッション4: 分散運用プラットフォーム

● [15:50~17:20] セッション5: 大学教育ネットワーク環境

- [17:30~] 懇親会
2月4日(金)
- [9:30~10:30] セッション6:分散システム管理者と新法制度
招待講演:ネットワークオペレータにとっての不正アクセス禁止
法制と通信傍受法制(仮題) 山口 英(奈良先端大)
- [10:40~12:10] セッション7:分散システム運用技術
- [13:10~15:10] セッション8:分散システムの運用と性能
評価
- [15:20~17:50] セッション9:パネルディスカッション
IPv6技術の概要, 運用方法および運用状況
内容:次世代のインターネットにおける技術基盤であるIPv6
(IP version 6) 技術の概要と運用方法ならびに運用状況を
解説・議論する 司会:江崎 浩(東大)
パネリスト:加藤 朗(東大)
坂根昌一(横河デジタルコンピュータ), 角川宗近(日立)
神明達也(東芝), 荒野高志(NTTコミュニケーションズ)
- [17:50~18:00] 閉会挨拶 箱崎勝也(電通大)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「インタラクシオン2000」 インタラクティブセッション論文募集

コンピュータやネットワーク技術の驚異的な進歩により情報環境が人間および社会に与える影響は図りしれません。こうした情報技術は、絶え間なく進化し成熟に向かっていているというよりはむしろ、単なるツールやシステムにとどまらない、人間や社会全体を包括するより大きな問題を抱えつつあるのではないのでしょうか。新たなミレニアムを迎えるにあたり我々は、社会に、人に、仕事に、そして生活に、真に価値をもたらすような「情報技術」を考える必要があります。

インタラクシオン会議は、計算機科学、メディア論、システム論、グループウェア、ソフトウェア工学、ヒューマンインタフェース、設計論、認知科学、さらには社会科学などを背景分野とし、例年200名を超える研究者が一堂に会して最新の技術や理論に関する情報を交換し合いお互いを高め合う学際的な「場」を提供するものです。インタラクシオン2000では、海外からの招待講演、厳正なる査読を経て選ばれる一般論文発表、およびインタラクティブなデモ発表とを催します。一般講演の中から最も優秀な論文に対して「ベストペーパー賞」を、インタラクティブ発表の中から最も優秀な発表に対して「ベストインタラクティブ発表賞」をそれぞれ表彰します。さらに、インタラクシオン2000の優秀な論文の中から研究会推薦論文を選出し情報処理学会論文誌に推薦します。本シンポジウムに関連した情報処理学会論文誌特集号の募集も予定しています。

新世紀に向けてのあなたの考えを共に語り合いませんか? 奮ってご応募ください。

- 日程 平成12年2月29日(火)・3月1日(水)
会場 東京工業大学(大岡山キャンパス)
主催 情報処理学会 ヒューマンインタフェース研究会
グループウェア研究会 情報メディア研究会
協賛 情報処理学会 コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 音楽情報科学研究会 音声言語情報処理研究会 グラフィクスとCAD研究会, 電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ, 日本バーチャルリアリティ学会 サイバースペースと仮想都市研究会, 日本認知科学会, 日本ソフトウェア科学会 インタラクティブシステムとソフトウェア研究会, 日本社会心理学会, ヒューマンインタフェース学会

論文募集要項 インタラクティブ発表は、ポスターおよびデモを用いた対話型の発表です。発表希望者はカメラレディ論文(A4, 2段組, 2ページ)1部およびコピー3部を原稿送付先まで郵送ください。投稿時にはあらかじめWWWによる事前登

録が必要です。詳しくはインタラクシオン2000のホームページ<http://www.brl.ntt.co.jp/interaction2000/>をご覧ください。

テーマ インタラクティブシステム(理論・デザイン・構成・評価技法), 情報(マルチメディア)デザイン, 視覚化/表示法(グラフィックス, アニメーション, 3D), マルチモーダルインタフェース, モバイルコンピューティング, ウェアラブルコンピュータ, Web, CSCW, エージェント, 言語, 創造性, 教育, 組織知, コミュニティコンピューティング, アート, 感性, エンタテインメント, 福祉, この他インタラクシオンに関するものであれば広く一般

- スケジュール
(1) 論文投稿締切 平成11年12月25日(土)
(2) 採否通知 平成12年1月6日(木)

送付先 (社)情報処理学会 インタラクシオン2000投稿係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
照会先 Interaction2000広報担当
大野健彦(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
〒243-0198 神奈川県厚木市森の里3-1
E-mail:i2k-ad@mos.ics.keio.ac.jp
Tel(046)240-3662 Fax(046)240-4707

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

Call for Papers The 2001 Symposium on Applications and the Internet (SAINT-2001)

国際業務委員会

本学会国際業務委員会では、平成10年9月より、特別委員会として「インターネット国際会議準備委員会」を発足させ、標記国際会議を、IEEE-Computer Societyとの共同主催で開催するべく準備を重ねてまいりました。今般、下記の通り当該国際会議の詳細が確定しましたので、各位には、奮ってのご参集をお願い申し上げます。

- 会期 平成13年1月8日(月)~12日(金)
会場 San Diego, California, USA
共催 IEEE Computer Society (IEEE-CS), 情報処理学会 (IPSJ)

協賛 (社)電子情報通信学会
組織委員会およびプログラム委員会

- General Co-Chairs: Ming T. Liu (The Ohio State Univ., USA), 戸田 巖(富士通)
◆Program Co-Chairs: Fred Douglass (AT&T Labs-Research, USA), 池田克夫(京大)
○Program Vice-Chairs:
・エージェントとインターネット:石田 亨(京大), Barbara Hayes-Roth (Extempo & Stanford, USA)
・コラボレーション技術:岡田謙一(慶大)
・デジタルライブラリ分散並列アプリケーション:Wemer Vogels (Cornell Univ., USA)
・特定分野向け言語:Michael I. Schwartzbach (BRICS, Denmark)
・エレクトロニックコマース:Wojciech Cellary (Poznan Univ., Poland)
・インターネットサービス:Peter Druschel (Rice Univ., USA)
・モバイルコミュニケーション:David B. Johnson (Carnegie Mellon Univ., USA)
・マルチメディア技術:Klara Nahrstedt (Univ. of Illinois, USA), Cormac Screenan (Univ. of Cork, Ireland)
○Program Committee Members: 会議ホームページをご覧ください。
○Tutorial Chair: Sumi Helal (Univ. of Florida, USA)
○Workshop Chair: 阪田史朗 (NEC)
○International Liaison Co-Chairs: Carl K. Chang (Univ. of Illinois)

- Chicago, USA), 大河内正明 (日本IBM)
- Awards Co-Chairs: 宮原秀夫 (阪大), Mervin E. Muller (The Ohio State Univ., USA)
 - Publicity Co-Chairs: Eric W. S. Chen (Chung Hsing Univ., Taiwan), 市川晴久 (NTT)
 - Publication Chair: Kane Kim (UC at Irvine, USA)
 - Registration Chair: 滝沢 誠 (東京電機大)
 - Treasurer: Joseph E. Urban (Arizona State Univ., USA)
 - Local Arrangements Chair: Pradip Srimani (Colorado State Univ., USA)
 - TCI Chair: Fred Douglass (AT&T Labs-Research, USA)

スコープ 本会議では、インターネットアプリケーションおよびその基盤技術を中心に、以下の分野について論文を募集します。
 エージェントとインターネット/コラボレーション技術/デジタルライブラリ/分散並列アプリケーション/特定分野向け言語/エレクトロニックコマース/インターネットサービス/モバイルコミュニケーション/マルチメディア技術

チュートリアルおよびワークショップ 本会議のテーマに関連するチュートリアルとワークショップを会議開催中に併設します。チュートリアルはチュートリアルチェアのSumi Helal教授 (helal@cisc.ufl.edu) へ、ワークショップはワークショップチェアの阪本史朗氏 (sakata@hml.cl.nec.co.jp) へ、平成12年3月1日までにご提案ください。なお、会議およびワークショップのプロシーディングはIEEE-CS Pressより出版されます。

会議ホームページ

<http://computer.org/tab/TCI/SAINT2001.html>

論文投稿

- 投稿様式: 図表, 引用を含め25ページ以内。ただし、各ページは、ダブルスペース, 8.5×11インチ, 10~12ポイントとします。また、アブストラクト, 5~10のキーワード, 著者の電子メールアドレスを添付し、最も適切な技術分野をスコープで指定した分野から1つ以上選んで指定してください。
- 電子投稿の方法: 論文のPDFファイルをメールに添付して "saint-2001@cis.ohio-state.edu" に送付してください。詳しくは本会議のホームページをご覧ください。
- 郵便投稿の方法: 電子投稿が困難な場合は論文原稿のコピー6部を下記に送付してください。

Dr. Fred Douglass
 AT&T Labs - Research Shannon Laboratory, Room B137
 180 Park Ave, Bldg 103 Florham Park, NJ 07932-0971
 E-mail: douglis@research.att.com
 Phone: +1-973-360-8775 Fax: +1-973-360-7011

主なスケジュール

- ・ 論文投稿締切 平成12年3月1日
- ・ 論文採録通知 平成12年8月15日
- ・ 最終原稿締切 平成12年10月1日

照会先 市川晴久 (NTT情報流通プラットフォーム研究所)

〒180-8585 東京都武蔵野市緑町3-9-11
 E-mail: ichikawa@slab.ntt.co.jp
 Tel(0422)59-3230 Fax(0422)37-7463

寄贈図書一覧

(99-55) 黒須正明, 伊東昌子, 時津倫子 (著): "ユーザ工学入門-使い勝手を考える・ISO13407への具体的アプローチ", 252p, 共立出版 (株), (1999-9): 3,200円+税
 (99-56) ルーシー・A・サッチマン (著), 佐伯 胖 (監訳): "プランと状況の行為-人間-機械コミュニケーションの可能性-", 218p, 産業図書 (株), (1999-10): 2,600円+税

支部だより

情報処理学会支部連絡先

北海道支部: 北海道大学工学部情報工学科内
 〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
 E-mail: ksaito@eng.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819
 Fax(011)706-6819

東北支部: 東北大学大学院情報学研究科内
 〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉05
 E-mail: hanyu@kameyama.ecei.tohoku.ac.jp
 Tel(022)217-7153 Fax(022)263-9401

東海支部: (株) NTTデータ東海支社内
 〒460-0003 名古屋市中区錦2-17-21 NTTDATA東銀ビル
 E-mail: t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517
 Fax(052)204-4521

北陸支部: 富山県立大学工学部内
 〒939-0398 富山県射水郡小杉町黒河5180
 E-mail: ataka@pu-toyama.ac.jp Tel(0766)56-7500 (ext.181)
 Fax(0766)56-8044

関西支部: (財) 関西情報センター内
 〒530-0001 大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F
 E-mail: ipsj-kansai@ks.kiis.or.jp Tel(06)6346-2543
 Fax(06)6346-2443

中国支部: NTTコミュニケーションウェア (株) 中国支社内
 〒733-8645 広島市西区商工センター2-6-1
 E-mail: yoshioka@chugoku.nttcom.co.jp Tel(082)276-8702
 Fax(082)276-8765

四国支部: 高知工科大学情報システム工学科内
 〒782-8502 高知県香美郡土佐山田町宮の口185
 E-mail: kikuchi@info.kochi-tech.ac.jp Tel(0887)53-1020
 Fax(0887)57-2220

九州支部: (株) NTTデータ九州支社総務担当内
 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTTDATA博多駅前ビル
 E-mail: bsarigam@bs.kyr.nttdata.co.jp Tel(092)475-5123
 Fax(092)475-5185

* 各支部の最新情報は<http://www.ipsj.or.jp>からリンクしています。

関西支部 「平成11年度セミナー」開催案内

日 時 平成11年12月15日 (水) 13:00~17:30
 会 場 天満研修センター (大阪, JR環状線天満駅より徒歩2分。 <http://www.temmacenter.com/>)

テ ー マ 情報家電の技術

講演スケジュール

- [13:00~13:10] 挨拶
- [13:10~14:10] オペレーティングシステムAperiosについて
篠崎郁生 (ソニー)
- [14:10~15:10] Jiniテクノロジー概説
宇野浩司 (サン・マイクロシステムズ)
- [15:30~16:30] マルチメディア時代のAVネットワーク
上田 徹 (シャープ)
- [16:30~17:30] 将来の家庭内ネットワークの姿
浅部 勉 (松下電器)

照会先 関西支部事務局 (前記「支部連絡先」参照)

* 参加方法等の詳細は、前11月号本欄をご参照ください。

中国支部 「講演会」開催案内

日 時 平成11年12月17日 (金) 13:00~15:00
 会 場 島根大学総合理工学部3号館2F210号室「多目的ホール」(松江市西川津町1060)

演 題 夢の超大容量メモリー-3次元光磁気記録-
 講 師 伊藤彰義 (日大)
 参 加 費 無料
 照会先 島根大学総合理工学部 本多茂男

E-mail:honda@ecs.shimane-u.ac.jp Tel(0852)32-6349
Fax(0852)32-8909

中国支部 「講演会」開催案内

日 時 平成11年12月20日(月) 13:30~15:00
会 場 広島大学工学部218教室(東広島市鏡山1-4-1)
演 題 Groebner Bases Over Rings and Modules in Systems and Signal Processing
講 師 N. K. Bose (ペンシルバニア州立大)
参加費 無料
照会先 広島大学工学部第二類(電気系) 雑元孝夫
E-mail:hinamoto@ecl.sys.hiroshima-u.ac.jp
Tel(0824)24-7672 Fax(0824)22-7195

東海支部 「講演会」開催案内

日 時 平成12年1月20日(木) 13:30~15:00
会 場 名古屋大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー3F
ベンチャーホール (<http://www.vbl.nagoya-u.ac.jp/access/access.html>)
演 題 鉄道とコンピューターその過去、現在、未来
講 師 富井規雄(鉄道総合技術研究所)
参加費 無料(参加資格不問)
照会先 名古屋大学大学院工学研究科計算理工学専攻・情報工学専攻 外山勝彦
E-mail:toyama@nuie.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-5146

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新しい情報処理学会論文誌： (研究会論文誌)の編集について

社会の情報化が急速に進展する中、本学会は情報処理の学術、技術にかかわる専門分野から学際分野までの研究・開発・調査を支援する重要な役割を担っています。今日の情報学術、技術の急速な進歩や分野の拡大に対処するため、迅速に新しい分野をカバーする研究会や研究グループ活動の強化、新しい多様な価値観の導入など、本学会に対する期待も急速に変化・拡大しており、速やかな対応が求められています。

このような状況に対応するため、本学会では、新しい論文採録規定の創成に向けてまず論文誌に、メタレビュー制度、ゲストエディタ制度、研究会推薦論文制度というような改革を行ってきました。

さらに、急速に拡大、多様化する各種研究分野での価値ある研究をタイムリーに公表するため、現行の論文誌に加えて、研究・開発・調査の最前線において活動を展開している研究会、研究グループが主体となって複数の新たな論文誌(研究会論文誌)を編集することになりました。詳細については、会誌39巻2号をご参照ください。

会員の皆様には各研究会論文誌に明記されている研究分野、査読方針などをご参照のうえ、現行の論文誌、または適切な研究会論文誌にご投稿いただくことになります。会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、現行の論文誌の和名、英名、投稿要領などに変更はありません。

[研究会論文誌の概要]

- (1) 名称は、「情報処理学会論文誌：サブタイトル (Information Processing Society of Japan Transactions on サブタイトル)」とします。
- (2) 研究会論文誌ごとに研究会論文誌編集委員会を設置します。複数の研究会が合同で研究会論文誌編集委員会を構成する

場合もあります。

- (3) 研究会論文誌ごとに研究会論文誌編集委員会委員名簿、編集方針(研究分野、論文の形式、査読基準、査読方法、投稿方法など)、具体的な編集方法を公表します。
- (4) 情報処理学会の会員以外の投稿も認めます。
- (5) 研究会論文誌は著者が用意した原稿から直接写真製版して印刷します。研究会論文誌編集委員会が指定する書式にしたがって原稿を作成してください。
- (6) 掲載された論文の著者は、それらの別刷を100部以上購入しなければなりません。
- (7) 研究会論文誌の購読を希望する場合には、研究会登録申込書により、当該研究会論文誌を編集する研究会論文誌編集委員会の母体研究会にご登録ください。研究会論文誌編集委員会を構成する母体研究会が複数の場合にはそのうちのいずれかの研究会にご登録ください。
- (8) 掲載された論文は、情報処理学会論文賞の対象となります。論文の著作権は本学会に帰属します。

今回、「情報処理学会論文誌：ハイパフォーマンスコンピューティングシステム」が編集されることになりました。編集のあらましは以下の通りです。

なお、この他の研究会論文誌に関しても、体制の整い次第、順次会告に掲載していきます。

■「情報処理学会論文誌：ハイパフォーマンスコンピューティングシステム」の編集について

編集責任：情報処理学会論文誌ハイパフォーマンスコンピューティングシステム(HPS)編集委員会

(委員会構成母体：ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)研究会、計算機アーキテクチャ(ARC)研究会、プログラミング(PRO)研究会、システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)研究会)

1. 対象とする分野

近年のコンピュータおよび情報処理技術の進歩により、コンピュータシステムは、いわゆる大規模科学技術計算や種々のビジネス応用の高速化を通じて、さまざまな産業を支える基盤技術として重要性を増しています。「情報処理学会論文誌：ハイパフォーマンスコンピューティングシステム」は、ハードウェア、アーキテクチャからソフトウェア、応用までを含む、高性能なコンピューティングのための要素技術およびシステム技術に関する論文を専門に扱う論文誌です。

主なテーマは以下の通りです。

- (1) 高速・高性能計算のための計算機システムアーキテクチャ技術
並列システムのアーキテクチャと利用技術(超並列システム、クラスタシステム) / 高性能プロセッサのアーキテクチャ技術 / 高性能ワークステーション、PCのシステム利用技術 / 高性能計算のための分散システムアーキテクチャ / スーパーコンピュータのアーキテクチャと利用技術(ベクトル処理等) / 高性能入出力、大容量ファイル技術、高速データマニング技術
- (2) 高速・高性能計算のためのソフトウェア技術
最適化コンパイラ技術、メモリアクセス最適化、キャッシュ最適化技術等 / 自動並列化、並列化支援ソフトウェア、データ配置・マッピング最適化技法 / 並列プログラミング言語 / 分散並列ミドルウェア、分散計算システム技術 / スケジューリング技法 / 可視化技術、デバックツール、コンポーネント化技術
- (3) 高速・高性能計算システムの性能評価
性能モデルと性能計測 / 性能チューニング技術 / ベンチマークとその利用技術
- (4) 数値計算と計算機シミュレーションの基礎理論と実際
モデル化手法、離散化手法、数値計算アルゴリズム、数値表現、高精度計算手法、並列アルゴリズム、大規模計算
- (5) ハイパフォーマンスコンピューティングの応用

計算科学での実際（計算化学，計算物理学，計算流体力学，計算経済学等）／ビジネス応用を含む非数値的高性能計算の実際

ハイパフォーマンスコンピューティングとは，単なる計算の高速化という意味にとどまりません。計算精度などの計算の質的な改善，あるいは，利便性の向上を目指した利用環境など計算システムの高度な技術要素も含まれます。また，計算機システムの高性能化により発展しつつある，計算化学，計算流体力学，計算物理学，計算経済学，計算生物学等のいわゆる計算科学も対象とします。ハイパフォーマンスコンピューティング技術の研究は，これらの応用分野とのインタラクションは欠くことができません。本論文誌を発刊することによって，従来の基幹論文誌ではカバーしにくかった他分野からの先進的な応用に関する論文を対象することができるようになります。

さらに本論文誌の対象が産業を支える基盤技術であることに鑑み，産業界を中心とした実用的な研究・開発の成果発表の場を提供することも重要な役割です。高性能計算システムやその要素技術の実用化，応用事例や性能評価など実際的な利用技術といった，これまで基幹論文誌をはじめとする研究発表媒体が必ずしもカバーできなかった成果の発表を積極的に支援します。研究論文の査読基準における実用性の重視，資料的価値や速報性が高い報告のテクニカルレポートとしての積極的採用などにより，実用的な成果発表の促進します。

なお，本論文誌は編集委員会を構成する上記4研究会の登録会員の方に配付されますので，興味をお持ちの方に最新の研究論文をまとまった形でお届けできることになります。

2. 編集方針

- (1) 論文の形態は，研究論文とサーベイ論文，テクニカルレポートとします。研究論文は研究的価値が高い内容を対象とし，テクニカルレポートは，ベンチマーク評価結果など，読者に有用な資料的な価値の高い内容も対象とします。区分は基本的に著者が指定しますが，編集時に著者の指定と異なる区分に変更することもあります。
- (2) 従来の研究報告は継続します。研究会において発表された論文の中で，優れた論文に関しては研究会論文誌に投稿を薦め，査読時に研究会での発表内容を考慮し，査読を行います。この推薦に関しては，研究会開催時に開催するHPS論文誌編集委員会で検討を行います。
- (3) 論文の記述言語は，日本語または英語とし，原則として学会指定の論文誌スタイル（当面はLaTeXに統一）に準拠することにします。いずれの言語の場合も，要旨は日英両方必要です。論文の分量については，特に制限は設けません。
- (4) HPS論文誌編集委員会は基幹論文誌の論文誌編集委員会との連絡を密にし，研究会論文誌の編集方針の審議・承認のもとに活動するものとします。また，査読基準や査読プロセスの詳細は，研究会や研究会ホームページ等を通じて公開し，必要があれば適宜修正します。

3. 査読基準

査読基準は，基幹論文誌編集委員会の「論文査読の手引き」（1998年5月改定版）に大筋において従ったものとします。本論文誌の特徴としては，以下の視点を重視します。

- (1) 急激な技術の変革に適応し，時宜を得た情報を提供するために，独創的な提案やアイデアは，その実用的価値を評価し，積極的に採用します。
- (2) システム，要素技術，利用技術などの実用的研究・開発の成果は，論文としての客観的な主張を含むものであれば，実用性を重視して積極的に採用します。
- (3) 著者独自の視点から整理・分類・評価し，技術を展望するオリジナルなサーベイ論文は，技術的価値の高いものとし，本論文誌では，優れたサーベイ論文は積極的に採用します。
- (4) 実システムのベンチマークデータなどは，資料的価値が高いものであり，研究を進める上での有用な情報になります。このような内容に関しては，テクニカルレポートとして，速報性を重視して査読の迅速化を図ります。

- (5) 応用システムでの実際，事例については計算機分野の研究者とハイパフォーマンスコンピューティングシステムのユーザーを結びつける重要な情報であり，情報処理以外の他分野のユーザーにも投稿を呼びかけ，積極的に採録します。

4. 投稿手続き

- (1) 論文募集は，原則として年2回行う予定です。投稿は原則として随時受け付けますが，論文募集は，HPC研究会，ARC研究会，PRO研究会，OS研究会および研究会が主催するシンポジウム開催と同期して行い，発刊時期と投稿締切を明示します。第1号は，平成12年1月中旬に受付（1月28日締切），7月に発行の予定です。第2号（4月受付）は10月に発行の予定です。
- (2) 論文投稿は，HPS編集委員会まで（現在，準備中）まで，投稿論文をお送りください。当面は，LaTeXによる学会指定の論文誌フォーマットに限定します。E-mailによる電子投稿を推奨します。
- (3) 査読のプロセスは，原則として基幹論文誌と同様です。「条件付き採録」となった論文については，1カ月以内に再投稿できます。テクニカルレポートに関しては，「採録」，「不採録」の2種類にし，速報性を重視します。
- (4) 論文は，その種類を問わず査読を経て「採録」となったものを掲載します。採録決定後，本論文誌の指定する締切日までに，投稿者がLaTeXファイル形式の原稿を用意し，これを学会に送付します。著者は，1回のみ校正を行うことができます。

5. 情報処理学会論文誌ハイパフォーマンスコンピューティングシステム編集委員会構成

編集委員長：小柳義夫（東大）

編集副委員長：中島 浩（豊橋技科大），佐藤三久（新情報）

編集委員（順不同）：野寺 隆（慶大），島崎眞昭（京大），梅谷征雄（静岡大），松沢照男（北陸先端大），寒川 光（日本IBM），長嶋雲兵（融合研），関口智嗣（電総研），朴 泰祐（筑波大），妹尾義樹（NEC），福井義成（東芝），太田 寛（日立），安里 彰（富士通），児玉祐悦（電総研），中村 宏（東大），五島正裕（京大），小畑正貴（岡山理科大），城 和貴（奈良女子大），松岡浩司（NEC），横田治夫（東工大），石川 裕（新情報），本多弘樹（電通大）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

会員の皆様へのお知らせ・お願い

●平成12年度会費，論文誌購読費および研究会登録費の納入について

平成12年度会費，論文誌購読費および研究会登録費の納付書（郵便振替用紙）を1月中旬に発送いたします。前納を原則としておりますので，3月末日までに納入いただきますようお願いいたします。

●大学学部および修士・博士課程卒業予定の学生会員の方へ

平成12年度会費は正会員（9,600円）として請求いたします。卒業に伴う機関誌送付先等の会員登録データ変更連絡は早目にお願います。学生会員を継続されます場合には，進学校名・進学コース・修了予定年月など学歴データをご連絡ください。

* 事務局へのご連絡の際には必ず会員番号と氏名を明記願います。

●論文誌のご購読について

「情報処理学会論文誌」（月刊）は有料頒布（会員年間購読費6,930円）です。まだ購読されていない方は新年度から購読されることをおすすめいたします。「変更連絡届」等をご利用いただきお申込みください（E-mail, Fax可）。

ホームページからの連絡も可能です。

●平成11年度会費、論文誌購読費および研究会登録費の納入について

本年度の会費・論文誌購読費および研究会登録費未納の方は、平成12年度会費等の請求明細書に過不足として計上いたします。また、未納の方はすでに9月号から機関誌の発送を停止しております。

なお、納入済だが機関誌が届かないという会員の方がお近くにいらっしゃいましたら、照会先へご連絡くださいますようお願い申し上げます。ご協力をお願いいたします。

注1) 研究会登録費をご納入いただいていない方も、研究報告の発送を停止しております。

注2) ご納入後、停止期間中の機関誌バックナンバーをご希望の方はご連絡ください(在庫がある場合に限り).

照会先 情報処理学会 会員担当

寄贈図書一覧(つづき)

(99-57) 茨木俊秀(著): "Cによるアルゴリズムとデータ構造", 226p, (株)昭晃堂, (1999-11): 2,700円+税
(99-58) 丸山 宏, 田村健人, 浦本直彦(著): "XMLとJavaによるWebアプリケーション開発"(CD-ROM付き), 420p, (株)ピアソン・エデュケーション, (1999-10): 4,800円+税
(99-59) 大場 充(著), ソフトウェア品質学研究会(編): "ソフトウェア品質学=総論>グローバルコラボレーション", 181p, (株)日科技連出版会, (1999-11): 2,400円+税
(99-60) ビーター・ニューマン(著), 滝沢 徹, 牧野祐子(訳): "あぶないコンピュータ", 346p, (株)ピアソン・エデュケーション, (1999-10): 3,800円+税

書籍コード: Z-99-2

好評発売中!

「西暦2000年問題の現状と対策—技術と法律—」

編集: 青山幹雄(新潟工科大学), 石田晴久(多摩美術大学)

発行: 情報処理学会会誌編集委員会

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 我が国における西暦2000年問題対応の状況 | 河野隆一(インテック) |
| 2. 西暦2000年問題の技術的課題 | 藤田好也(野村総合研究所) |
| 3. 西暦2000年問題の法的課題 | 大谷和子(日本総合研究所) |
| 4. 西暦2000年問題がもたらすソフトウェア保守技術の進展 | 上原三八(富士通研究所) |
| 5. 西暦2000年問題の理解を深めるために | 尾股達也(情報サービス産業協会), 青山幹雄(新潟工科大学) |

A5判, 80頁 定価: 500円(20部一括9,000円, 100部一括40,000円)(税込み, 送料別)

申込先: (社)情報処理学会 図書担当

<http://www.ipsj.or.jp/> E-mail: tosho@ipsj.or.jp

書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では、会誌「情報処理」に掲載する書評、および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について、原稿を募集します。
 - a) 書評—過去2年間に出版された、本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
 - b) 会議レポート—情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など、時事性が高く、本学会員に広く知らせる価値のある話題。
2. 応募資格 原則として本学会員に限ります。
3. 応募の手続き
 - 1) 表題—書評の場合は、著者名、書名、ページ数、発行所、発行年、価格、ISBNを書く。
会議レポートは、見出しを書く。書評、会議レポートの別を左肩に書く。
 - 2) 評者名(会議レポートの場合は筆者名)・所属・評者連絡先(住所、E-mail, Faxなど)の記載を忘れずに。
 - 3) 本文—書評、会議レポートとも2100字前後で書く。
 - 4) (必要であれば)参考文献、付録、図、表をつける。
詳しくは「情報処理学会機関誌原稿執筆案内」(1999年1月号会告掲載)を参照してください。
4. 原稿の取扱い 投稿された原稿は会誌編集委員会が審査し、採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。
5. 照会先/応募先 (社)情報処理学会 会誌担当 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03)5484-3535 Fax (03)5484-3534

書籍

「大学の理工系学部情報系学科のための コンピュータサイエンス教育カリキュラムJ97 (第1.1版)」頒布のお知らせ

本学会情報処理教育カリキュラム調査委員会J97策定ワーキンググループ (J97-WG) では、標記カリキュラムを策定し、平成9年11月に報告書としてまとめました。

目次概要は以下のとおりです。

- 目次概要：・大学の理工系学部情報系専門学科の役割
・CS教育カリキュラムJ97の設計
・J97の提示方法
*付録：J97の講義科目（詳細）－シラバス形式－
*付録：モデル履修コース（詳細）

本報告書の第1.1版（修正箇所は前書きに明示）を下記によりおわけします。ご希望の方は会誌会告欄または学会ホームページの「書籍」申込書にてお申込ください。

頒布価格 1,500円（送料、消費税込）
書籍名 M-J97 (1.1)（略称）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

会議案内（協賛・後援）

- ◆：本会協賛・後援 1. 開催日 2. 会場 3. 照会先 4. その他

【国内会議】

- ◆第261回講習会「CNCオープン化はここまで来た」
1. 平成12年1月20日（木） 2. 中大駿河台記念館（都内千代田区）
3. (社) 精密工学会 Tel(03)5226-5191 Fax5226-5192
<http://www.jspe.or.jp>

- ◆平成11年度第IV期教育講座「ワイアレス通信システムコース」
1. 平成12年3月8日（水）～10日（金） 2. 神奈川科学技術アカデミー（川崎市高津区） 3. (財) 神奈川科学技術アカデミー
Tel(044)819-2033 Fax819-2097 E-mail:kast-ed@net.ksp.or.jp

- ◆センサ総合展2000
1. 平成12年4月26日（水）～28日（金） 2. 東京ビックサイト（都内江東区） 3. 日本工業新聞社事業部 Tel(03)3273-6184
Fax3241-4999

- ◆トライボロジー会議2000春
1. 平成12年5月15日（月）～17日（水） 2. 機械振興会館（都内港区） 3. (社) 日本トライボロジー学会 Tel(03)3434-1926
Fax3434-3556 <http://www.mep.titech.ac.jp/Nakahara/jast/>

- ◆第5回講演会
1. 平成12年5月24日（水）～26日（金） 2. 未定 3. 日本計算工学会 Tel(03)3263-6014 Fax3263-7077 <http://hello.to/jsces>

- ◆第6回コンピュータ・ビジュアルリゼーション・コンテスト
1. 平成12年6月23日（金） 2. SGIホール（都内渋谷区）
3. 日経サイエンス社 Tel(03)5255-2831 Fax5255-2863
<http://www.nikkei.co.jp/pub/science/>

- ◆第18回日本ロボット学会学術講演会
1. 平成12年9月12日（火）～14日（木） 2. 立命館大（草津市）
3. (社) 日本ロボット学会 Tel(03)3812-7594 Fax3812-4628

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約80名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

- ◆照会先 (社) 情報処理学会 会誌部門

【国際会議】

- ◆The 9th Workshop on Synthesis and System Integration of Mixed Technologies (SASIMI2000)
1. 2000年4月6日（木）～7日（金） 2. 京都リサーチパーク
3. 泉（京大） Tel/Fax(075)753-4804
E-mail:izumi@kuee.kyoto-u.ac.jp

- ◆An International Symposium on Low-Power and High-Speed Chips (COOL Chips III)
1. 2000年4月24日（月）～25日（火） 2. 機械振興会館（都内港区） 3. <http://www.coolchips.org/>

- The 5th Online World Conference on Soft Computing in Industrial Applications (WSC5)
1. 2000年9月4日（月）～18日（火） 2. インターネット上で開催
<http://www.bioele.nuee.nagoya-u.ac.jp/wsc5> 3. 神谷（東芝）
Tel(042)333-2562 Fax340-8060
E-mail:akimoto.kamiya@toshiba.co.jp

- ◆The 2nd International Working Conference on Active Networks (IWAN2000)
1. 2000年10月16日（月）～18日（水） 2. 東京 3. 吉田（日立）
Tel(045)860-3080 Fax860-1675 E-mail:yoshida@sdl.hitachi.co.jp

- ◆The 3rd Asia-Pacific Conference on Simulated Evolution and Learning (SEAL2000)
1. 2000年10月25日（水）～27日（金） 2. 名古屋市
3. <http://www.bioele.nuee.nagoya-u.ac.jp/seal2k/>

- ◆IAPR Workshop on Machine Vision Applications (MVA2000)
1. 2000年11月28日（火）～30日（木） 2. 東大 3. 池内（東大）
Tel/Fax(03)3401-1433 <http://www.etl.go.jp/etl/gazo/mva2000/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

その他のお知らせ

- 「サウンド技術振興財団平成12年度研究助成」のお知らせ
産業、生活、文化の各分野にわたる音に関する技術の基礎および応用研究を対象に助成を行います。詳細は下記照会先にお問い合わせください。

応募資格 大学、または各種試験研究機関に所属する研究者・研究グループ

応募締切 平成12年2月29日（火）

照会先 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-36-4（全理連ビル内）
(財) サウンド技術振興財団事務局 Tel(03)3370-8277
Fax(03)3379-1446 <http://www.ne.jp/asahi/stpf/hp/>

○「第29回日本産業技術大賞」推薦募集

日刊工業新聞社では、産業界における革新的な大型技術の開発を奨励することを目的に、標記の賞を設けています。応募等の詳細は下記照会先にお問い合わせください。

候補対象 (1) 産業発展に貢献度の高い産業設備の開発、(2) 独創的、画期的で産業・社会に変革をもたらした技術開発、(3) 技術革新に貢献度の高いシステム技術の開発、(4) 地球環境保全に大きな効果を発揮する設備の開発－などで、平成11年中に実際に工業化または活用されて成果をあげた「開発・実用化グループ」。

推薦締切 平成12年1月20日（木）*情報処理学会必着

提出締切 平成12年1月末日 *日刊工業新聞社必着

照会先 日刊工業新聞社「日本産業技術大賞事務局」
〒102-8181 東京都千代田区九段北1-8-10 編集局科学技術部
Tel(03)3222-7067

○「SOHO支援」について

静岡県では、情報処理分野を中心としたSOHOワーカーに対する各種支援を行い、より多くの方々のニーズを把握するためにアンケートを実施しております。詳細は下記照会先にお問い合わせください。

照会先 〒420-8601 静岡市追手町9-6 静岡県企画部情報政策室
E-mail:joho@pref.shizuoka.jp Tel(054)221-2082
Fax(054)251-4091 <http://www.pref.shizuoka.jp/kikaku/soho/>

第446回理事会

日時 平成11年10月20日(水) 17:30~20:30
会場 情報処理学会会議室
出席者 長尾会長, 発田副会長, 江原, 釜江, 富田, 西尾,
宮西, 吉澤, 旭, 石井, 小花, 上林, 工藤, 調, 滝沢,
安浦各理事, 増永, 菊野各監事
(委任状による出席) 松下副会長, 大河内, 河田各理事
(オブザーバ) 大岩教育委員長, (欠席) 大蒔理事
(事務局) 柳川事務局長ほか2名

議 題

1. 承認事項

- 承-1 平成11年9月17日(現在) 会員入退会状況を承認した。
正会員 25,352(名)
学生会員 1,542
海外会員 13
賛助会員 429(社) 557(口) } 26,907(名)
- 2 平成11年9月分一般会計収支状況を承認した。
3 功績賞選定関係規程の改訂について
功績賞委員会の委員構成の変更, 推薦母体の拡充, 電子メール会議の採用を承認した。
4 平成11年度功績賞選定日程および委員(案)等について
功績賞選定日程, 規程改訂後の委員(案), 推薦母体(案)を承認した。
5 購読員に関する規程の改訂について
購読員のほか会誌購読員, 論文誌購読員を設け, 割安の購読料で購読できることとした。
6 研究会の新設・継続・名称変更を承認した。
新設 情報環境領域: 高度交通システム研究会 発起人代表 松下 温
名称変更 情報環境領域: モバイルコンピューティングとワイヤレス通信研究会 (現モバイルコンピューティング研究会)
7 シンポジウム開催願い/終了報告
シンポジウムの開催願い4件を承認し, 終了報告1件を了承した。
8 産業フォーラム参加者の入会金免除の扱いについて
産業フォーラム参加者が当日入会手続を取った場合は入会金を免除することを承認した。
9 国内会議協賛・後援等依頼
5団体からの5件の協賛・後援依頼を承認した。
10 国際会議協賛・後援等依頼
1団体からの1件の依頼を承認した。
11 情報規格調査会委員の変更
情報規格調査会2号および5号委員の変更を承認した。

2. 審議事項

- 審-1 平成12年度役員候補者の推薦について
役員候補被推薦者について, 非会員, 留任理事と同一組織所属者, 学会活動実績のない者(理事候補者)について調整を行い, 役員による投票を行うこととした。
2 平成12年度事業計画提出依頼
新規事業計画および予算額を11月15日までに提出することとした。
3 記念事業特別会計の新設について
創立40周年記念事業等のために特別会計を新設することを承認した。
4 6学会連携のホームページへの参加について
子供向けホームページ作成について, 既成のページにリンクする方向で提案を行うこととした。
5 学会創立40周年記念行事について
高校の新教科「情報」に関する学会から文部省あての要望書を検討し, 一部修正の上提出することとした。

3. 報告事項

- 総-1 平成11年9月期開催会議
2 平成11年10月現在広告受付進捗状況
3 第8回会員増強委員会
4 代表会員選出に関する会告(案)
5 学会創立40周年記念式典の会場等について
記念式典の日程, 場所を内定したとの報告があった。
平成12年10月20日(金) 虎ノ門パストラル(港区)

会-1 第23回会誌編集委員会

研-1 第244回論文誌編集委員会

- 2 第5回論文・研究会調整委員会

規-1 第143回規格役員会

2 1999-09 IEEE-SA Standards Board およびReview Committee Meeting

他-1 日本学術会議第18期会員の推薦について

2 エコデザイン学会連合設立に関するお願い

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

採録論文一覧

情報処理学会論文誌

平成11年11月の論文誌編集委員会で採録された論文は次のとおりです(カッコ内は受付年月日)。

- ◇田辺利文, 富浦洋一, 日高 達: 係り受け文脈自由文法とその日本語への適用 (98.10.12)
◇浜田雅樹, 藤山克禎, 藤崎智宏: 管理プロトコルへの適応性を有するネットワーク管理システム用フレームワーク構成法 (98.10.23)
◇Zixue Cheng, Kshirasagar Naik, Naka Tajima, Tongjun Huang, Shoichi Noguchi: An Efficient Distributed Algorithm for Implementation of Multi-Rendezvous based on θ -Chain-Coterie (98.11.11)
◇Zixue Cheng, Yutaka Wada, Yukiko Inoue, Tao Xue Zhaug: Distributed Resource Allocation among Overlapping Groups (98.11.17)
◇松尾聡子, 片寄晴弘, 井口征士: 旋律予測のコンピュータシミュレーションに関する一検討 (99.1.8)
◇吉本富士市, 森山真光, 原田利宣: 実数を遺伝子とした遺伝的アルゴリズムによるデータあてはめ (99.1.13)
◇鈴木 誠, 松嶋敏泰, 平澤茂一: 不確実な知識を用いた推論のモデル化と推論法について (99.1.26)
◇米村俊一, 浜田 洋, 徳永幸生, 岡崎哲夫: 操作手順の言語的な記述に基づくユーザインタフェース設計法 (99.2.5)
◇山内長承, 石川憲洋, 高橋 修: IPマルチキャストの配送制御とそのセキュリティへの応用 (99.3.2)
◇是津耕司, 上原邦昭, 田中克己: 映像の意味的構造の発見 (99.3.4)
◇堀井則彰, 上原邦昭: 失敗からの知識獲得とテキスト分類に基づくインターネットからの情報収集 (99.3.8)
◇田中厚子, 広田光一, 金子豊久: 力覚提示を目的とした刃先と対象物との干渉計算 (99.3.8)
◇小野哲雄, 今井倫太, 江谷為之: ヒューマンロボットインタラクションにおける関係性の創出 (99.4.26)
◇倉光君郎, 坂村 健: PCO: インターネット上における分散的なスキーマに対応した複合ECコンテンツ記述言語 (99.4.27)
◇章 志華, 長澤 勲, 望月雅光, 山口秀行, 梅田政信: 溶接製品品の製作設計支援のための設計対象モデル (99.5.17)
◇山崎憲一, 吉田雅治, 天海良治, 竹内郁雄: マルチパラダイム言語TAOにおける論理型プログラム処理系の実装 (99.5.18)
◇織茂昌之, 津原 進, 太田和泉, 佐々木良一: 情報システムにおけるセキュリティ対策立案のための計画手法 (99.5.19)
◇Masayoshi Aritsugi, Hiroki Fukatsu, Yoshinari Kanamori: Implementation of Parallel Image Convolution Processing Based on CORBA (99.6.4)
◇岡谷貴之, 出口光一郎: 非ランバート性拡散反射に対する等高線の発展による陰影からの形状復元 (99.6.28)
◇Masahiro Wakiyama, Shouta Yoshihara, Hideki Noda, Koichi Nozaki, Eiji Kawaguchi: A Discussion on the Property of the Semantic Space in the SD-Form Semantics Model (99.7.8)
◇Masahiro Wakiyama, Shouta Yoshihara, Hideki Noda, Koichi Nozaki, Eiji Kawaguchi: An Extended SD-Form Semantics Model (99.8.4)
◇亀川 繁, 津田伸生, 服部進実: うわさの伝播モデル (99.8.24)
◇金井 崇, 鈴木宏正, 三谷 純, 木村文彦: 局所的3次元モーフィングにもとづく三角形メッシュの融合演算 (99.8.31)
◇高橋成雄: 多重解像度局所平滑化を用いた細分割曲面設計 (99.8.31)
◇大湖竜太郎, 増田 宏, 青野雅樹: NURBS曲線・曲面を対象とした幾何形状を保持する電子透かし埋め込み手法 (99.9.9)
◇安齋祐一, 村岡一信, 千葉則茂, 齋藤伸司: 蝶のビジュアルシミュレーション (99.9.13)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

掲載論文一覧

(掲載順, 所属は現在のものを記載)

情報処理学会論文誌: Vol.40 No.12

■Cellular Automata on Groups with Asymptotic Boundary Conditions
Shuichi Yukita (The Univ. of Aizu)

■ある20480次代数方程式の係数の計算に対する多倍長演算の並列化
益本博幸 (アイテック阪神), 藤野清次 (広島市立大)
小野令美 (元千葉大), 児島 彰 (広島市立大)

■ランチョス多項式の漸化式計算における数値的不安定性の回避法
櫻井鉄也, 高林記誉宣, 名取 亮 (筑波大)

■一次分数変換を利用した連立代数方程式の近接根の分離と擬局所化における誤差について
鈴木秀男 (職業能力開発総合大), 小林英恒 (日大)

■級数の再帰的集約による多倍長数の計算法と π の計算への応用
右田剛史, 天野 晃, 浅田尚紀, 藤野清次 (広島市立大)

■語の共起確率に基づく係り受け解析とその評価
藤尾正和, 松本裕治 (奈良先端大)

■英文契約書式集に含まれる名詞間の類似度計算
相良かおる, 渡邊勝正 (奈良先端大)

■ニューラルフィルタの簡約構造決定手法
鈴木賢治, 堀場勇夫 (愛知県立大), 杉江 昇 (名城大)

■外郭局的輪郭線特徴を用いた統合型ニューラルネットワークによる類似文字認識
堀桂太郎, 菅原広喜, 伊藤彰義 (日大)

■遺伝的アルゴリズムにおけるSRG選択法の提案
小嶋和徳, 石亀昌明 (岩手県立大), 松尾 広 (秋田大)

■攻撃耐性を強化した離散コサイン変換による電子透かしの一方法
松井甲子雄, 中里隆博 (防衛大)

■文字認識と異種情報の対応関係に基づいたニュース放送からの情報抽出
佐藤俊雄 (東芝), 金出武雄 (カーネギーメロン大)

■フラクタル画像符号化における新しいドメインブロック評価関数
今村幸祐, 田中祐史, 黒田英夫 (長崎大)

■形状関数を利用した画像ゆがみ補正方法の提案
田添 亘, 梅沢貞夫 (日立)

■マルチグレイン並列化FORTRANコンパイラ
岡本雅巳 (東芝), 小幡元樹 (早大), 松井巖徹 (松下電器)
松崎秀則 (東芝), 笠原博徳, 成田誠之助 (早大)

■GA-based Task Allocation by Throughput Prediction
Yoichi Aoyagi (Annex Information, Inc.)
Minoru Uehara, Hideki Mori, Akira Sato (Toyo Univ.)

■ビヘイビアパターンに基づくモバイルエージェントシステム開発手法
田原康之, 大須賀昭彦, 本位田真一 (東芝)

■分散WWWキャッシュシステムの構成自動設定機構
井上博之 (住友電気工業), 坂本岳史 (松下電器)
山口 英 (奈良先端大), 尾家祐二 (九工大)

■再送をともなう高信頼マルチキャストの送信レートと性能
山内長承 (都立大), 城下輝治 (NTT)
佐野哲央 (日本テレマティーク), 高橋 修 (NTTドコモ)

■IPアドレス/MACアドレス偽造に対応した情報コンセント不正アクセス防止方式
石橋勇人 (大阪市立大), 山井成良 (岡山大)
安倍広多, 大西克実, 松浦敏雄 (大阪市立大)

■On the Σ_2 -Definability of Integer Factoring
Mitsuru Tada (Japan Advanced Institute of Science and Technology)

Hiroki Shizuya (Tohoku Univ.)

■カラー画像への可変表示型電子透かしの提案
ウィセスト ビヤビスト, 松井甲子雄 (防衛大)

■企業情報向けグループ暗号システム
荒井正人, 鍛 忠志, 伊藤浩道, 手塚 悟, 佐々木良一 (日立)

■英作文における自動添削システムの構築と評価
西村則久 (岩国市職員), 明閑賢太郎, 安村通見 (慶大)

■シユール補元による反復法のチューニング 寒川 光 (日本IBM)

■単語の出現密度分布と偏出度を用いた図表と説明テキストの対応付け
水野浩之, 黄瀬浩一, 松本啓之亮 (大阪府立大)

■ベクトル型インタフェースの対数ルーチン 寒川 光 (日本IBM)

情報処理学会論文誌: Vol.40 No.SIG 8 (TOD 4)

[研究論文]

■非同期型コミュニケーションにおけるトランザクションの動的構築
井上創造, 岩井原瑞穂 (九大)

■カラーベトリネットによるオブジェクトマイグレーションの振舞いモデリング
佐藤秀樹 (愛知学泉大), 林 達也 (名工大)

■連邦データベースシステムにおけるスキーマ構築の一方式
池田哲夫, 鈴木源吾, 町原宏毅 (NTT), 安田 浩 (東大)

■オブジェクト指向データベースによるWWW-DB連携システムの高速度化とWWWコンテンツ管理への応用
安村義孝 (NEC)

■近傍検索向け転置ファイル法における外部キー検索と動的データ追加の実装と評価
赤間浩樹, 小西史和, 吉田忠城, 谷口展郎
山室雅司, 串間和彦 (NTT)

■文書間の類似度における単語寄与度を利用した検索式拡張手法
帆足啓一郎, 松本一則, 井ノ上直己, 橋本和夫 (KDD研)

■共起単語間の関連性を考慮した文書重要度付与
高木 徹, 木谷 強 (NTT)

■転置ファイルおよび接尾辞配列の効率的圧縮法
定兼邦彦, 今井 浩 (東大)

■マルチデータベース環境における時間的・空間的関連性評価によるデータ結合方式
細川宜秀 (筑波大), 石橋直樹 (慶大)
八代夕紀子 (お茶の水女子大), 清木 康 (慶大)

■WWW検索エンジンのためのインクリメンタルな全文検索インデックス更新方式
吉原 潤, 加藤和彦 (筑波大)

■コンテンツの有効時間を考慮した放送型ハイパーメディアの配信モデルとその時間的一貫性管理
野田玲子, 角谷和俊, 田中克己 (神戸大)

[サーベイ論文]

■放送型情報配信のためのモデルとシステム
角谷和俊 (松下電器/神戸大), 宮部義幸 (松下電器)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新規入会者

平成11年11月の理事会で入会を承認された方々は次のとおりです (会員番号, 敬称略)。

【正会員】 浅岡 香枝, 天羽 正道, 飯島 哲生, 今沢 真, 小木しのぶ, 小野寺 力, 太田 修造, 加藤 政美, 鯨田 雅信, 高 東敬, 小松川 浩, 近藤 利夫, 志摩 貴浩, 杉村 幸彦,

高木 義和, 高橋 照夫, 谷口 勇夫, 土井 宏治, 原 義人,
 二神 常爾, 正井 栄一, 三宅 新二, 宮前 剛, 山口 詔二,
 山口 裕子, 山田 孝子, 米澤 直記, 坂田 英夫, 緒方 正人,
 小浜 大吉, 松尾 哲司, 西塚 一樹, 村上 明子, 関 隆行,
 沼崎 俊一, 宮下 美貴, 西井 克昌, 酒井 敦, 小池 一幸,
 大原 孝一, 伊藤 博之, 芝 修吾, 三十尾潔高, 道山 淳児,
 村中 直樹, 花井 克之, 天野 明弘, 浅見 真一, 田辺 弘実,
 佐藤 智之, 田辺 望, 松本 隆明, 山崎 博康。(以上53名)

【学生会員】 大石 卓弥, 小栗 賢志, 下崎 誠, 中西 基起,
 中堀 茂, 西村 公行, 野村 潔, 松井一比良, 川本 康貴,
 浅田 雅人, 田頭 茂明, 仁井 康夫, 八木豊志樹, 松本 智知,
 小崎 元, 鍵和田創一, 王 カン, 首藤 達生, 佐藤創太郎,
 長谷川崇朗, 長尾 俊彦, 大谷 謙勝。(以上22名)

【海外会員】 片柴 ケン。(以上1名)

【死亡退会者】

山内 成志君 〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎760-402
 ご逝去の訃音に接しここに謹んで哀悼の意を表します。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今年の「情報処理」の記事を閲読した方々

会誌編集委員会

会誌「情報処理」40巻1号から12号に掲載された記事の閲読をして
 いただいた方々に感謝いたします(敬称略。所属は閲読時)。

青沼 充 (富士ゼロックス) 青山幹雄 (新潟工科大)
 赤坂幸彦 (NTTデータ) 秋葉友良 (電総研)
 秋葉泰弘 (NTT) 阿久津達也 (東大)
 穴南武士 (NEC) 安部正人 (岩手大)
 石田晴久 (多摩美大/アスキー) 石丸知之 (東芝)
 市川哲彦 (お茶大) 稲吉宏明 (電総研)
 牛島和弘 (富士通) 梅木秀雄 (東芝)
 浦谷則好 (NHK/ATR) 江崎 浩 (東大)
 江原暉将 (NHK) 圓丸哲朗 (日本ユニシス)
 大喜多秀紀 (東芝) 大久保隆夫 (富士通研)
 岡本栄司 (北陸先端大) 岡本秀輔 (茨城大)

小田利彦 (リコー) 小橋喜嗣 (NTT)
 笠野 章 (東芝) 片山泰尚 (日本IBM)
 加藤和彦 (筑波大) 河原正治 (筑波技短)
 黄瀬浩一 (大阪府立大) 金 淵培 (NHK)
 楠 房子 (多摩美大)
 小池秀幸 (NTTサイバースペース研)
 小柴健史 (通信・放送機構) 小寺 誠 (沖電気)
 木幡 稔 (千葉工大) 小室 浩 (東芝)
 酒井義文 (東洋大) 坂村 健 (東大)
 佐藤三久 (新情報処理開発機構) 佐藤 証 (日本IBM)
 椎尾一郎 (玉川大) 重野 寛 (慶大)
 篠原 健 (野村総研) 末吉敏則 (熊本大)
 杉山敬三 (KDD研) 鈴木健二 (KDD研)
 鈴木雅実 (KDD研) 高木成彦 (三菱)
 高野みさ子 (日立) 高橋延匡 (拓殖大)
 竹井和昭 (鉄道情報システム) 田島 玲 (日本IBM)
 田中淳裕 (NEC) 田中秀樹 (NTTデータ)
 田宮 豊 (富士通研) 田村恭久 (上智大)
 塚田恭章 (NTT) 塚本享治 (東京工科大)
 辻 洋 (日立) 寺野隆雄 (筑波大)
 中井 央 (図書館情報大) 中尾健治 (日本IBM)
 中川晋一 (CRL) 仲谷善雄 (ドーシス)
 中野幹生 (NTT) 中村篤祥 (NEC)
 中村 達 (アイネス) 那須川哲哉 (日本IBM)
 難波康晴 (日立) 西山 智 (KDD研)
 貫井春美 (東芝) 萩原洋一 (農工大)
 林 良彦 (NTT) 深谷哲司 (東芝)
 前川仁孝 (千葉工大) 前田敦司 (電通大)
 増井俊之 (ソニーコンピュータサイエンス研)
 松井浩二 (東芝) 松原 仁 (電総研)
 水野忠則 (静岡大) 皆川 剛 (日立)
 三橋昭和 (アスキー/I&E神蔵研究所)
 三宅 優 (KDD研) 宮田一乗 (東京工芸大)
 村山 聡 (三菱) 森川直人 (日立)
 安田 浩 (東大) 山岡めぐみ (松下技研)
 山崎浩一 (群馬大) 山本幹雄 (筑波大)
 湯浅 敬 (ヒューレットパッカー) 湯川高志 (NTT) 吉田明正 (東邦大)
 吉田 仙 (NTT)
 吉永茂雄 (日本自動認識システム協会)
 吉光 宏 (三菱総研)

～～*～～ 会員の特典について ～～*～～

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします。詳細は、会告 (Vol.40, No.10) をご覧ください。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員担当 (mem@ipsj.or.jp) までお寄せください。

- ◆ホテル (5～30%割引)
 サンルートホテル/チサンホテル/ホテル法華クラブ/ワシントンホテル/JRホテルグループ/東急イン/
 東急ホテル/プリンスホテル
- ◆UC丸善アカデミックカード (10%割引)
- ◆コンピュータソフト (株) パーシティウェブ (教育機関所属の方はアカデミック価格で)
- ◆日本エアシステム (20%程度割引)
- ◆日産レンタカー (35%程度割引)
- ◆ニッポンレンタカー (最大48%割引)
- ◆バック旅行 (3～5%割引)
 日本交通公社/日本旅行/近畿日本ツーリスト/東急観光/京王観光

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・ 行事No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・ 欠席の場合も参加費は徴収させていただきます。
- ・ 会員の方は必ず会員No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (Aは該当番号に○)				
A: 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B: 会員No.			C: ご氏名	
D: 勤務先			E: ご所属	
F: 郵便番号	G: ご住所			
H: Tel			I: Fax	
J: E-mail				

送本先, 照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
K:

申込行事	
L: 行事No.	
M: 参加費	円
N: 懇親会費	円
O-1: 論文集のみ	円
O-2: 論文集のみ	冊

アンケート* 宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)	
P: 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q: たばこ	(1) すう (2) すわない
R: 年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
S: 通信欄	

T: 支払方法 (該当番号に○)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *		
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *		
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *		
	(4) 現金持参		
	(5) 現金書留		
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日が分かる場合, 記入のこと		
U: 送金名義人			
V-1: 請求書	通	V-2: 見積書	通
V-3: 納品書 通			
W: 請求書記載名義			
X: 送金に関する照会先			

<p style="text-align: center;">申込先 (社) 情報処理学会 調査研究/事業担当</p> <p style="text-align: center;">〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p style="text-align: center;">Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 E-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)</p> <p style="text-align: center;">E-mail:jigyo@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)</p> <p>*E-mailでの申込み: 各項目はカンマ(,)で区切り, (1) ... (5)は選択, その他は文字を記入のこと。</p> <p>[例] A: (1), B: 999999, C: 情報太郎, ... T: (1) (1月30日送金予定), U: 情報太郎, V-1: 1, V-2: 1, V-3: 1, W: (株) × × 電気, ...</p>

情報処理学会「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

申込者					
A：会員/非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B：会員No.			C：ご氏名		
D：勤務先			E：ご所属		
F：ご住所	〒				
G：TEL			H：Fax		
I：E-mail					

送本先、照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
J：照会先/送本先

「購入希望書籍」リスト			
書籍名/コード名	希望部数 (冊)	単価 (円)	金額 (円)
K-1-(a)：	K-1-(b)：	K-1-(c)：	K-1-(d)：
K-2-(a)：	K-2-(b)：	K-2-(c)：	K-2-(d)：
K-3-(a)：	K-3-(b)：	K-3-(c)：	K-3-(d)：
K-4-(a)：	K-4-(b)：	K-4-(c)：	K-4-(d)：
K-5-(a)：	K-5-(b)：	K-5-(c)：	K-5-(d)：
K-6-(a)：	K-6-(b)：	K-6-(c)：	K-6-(d)：

M：支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 現金持参	
	(5) 現金書留	
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合、記入のこと	
N：送金名義人		
O-1：請求書 通	O-2：見積書 通	O-3：納品書 通
P：請求書記載名義		
Q：送金に関する照会先		

<p style="text-align: center;">申込先 (社) 情報処理学会 図書担当</p> <p style="text-align: center;">〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p style="text-align: center;">E-mail:tosho@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534</p> <p style="text-align: center;">http://www.ipsj.or.jp/tosho.htmlからもお申し込みいただけます。</p> <p>*E-mailでの申込み：各項目はカンマ(,)で区切り、(1) ... (5)は選択、その他は文字を記入のこと。</p> <p>[例] A：(1), B：999999, C：情報太郎, ... K-1-(a)：情報処理Vol.38 No.3, K-1-(b)：1, K-1-(c)：1600, K-1-(d)：1600, M：(1) (1月31日送金予定), N：情報太郎, O-1：1, O-2：1, O-3：1, P：(株)××電気, ...</p>

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内など）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

記

1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲載料金（消費税別）															
論文募集 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集に限る。	1ページ または 1/2ページ	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">（主催）</td> <td style="width: 40%;">1ページまで</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">無料</td> </tr> <tr> <td>（共催）</td> <td>1ページ</td> <td style="text-align: right;">50,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1/2ページ</td> <td style="text-align: right;">30,000円</td> </tr> <tr> <td>（協賛）</td> <td>1ページ</td> <td style="text-align: right;">100,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1/2ページ</td> <td style="text-align: right;">50,000円</td> </tr> </table>	（主催）	1ページまで	無料	（共催）	1ページ	50,000円		1/2ページ	30,000円	（協賛）	1ページ	100,000円		1/2ページ	50,000円
（主催）	1ページまで	無料																
（共催）	1ページ	50,000円																
	1/2ページ	30,000円																
（協賛）	1ページ	100,000円																
	1/2ページ	50,000円																
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関，企業の人材募集	10行程度	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">（国公立教育機関，国公立研究機関）</td> <td style="width: 70%; text-align: right;">20,000円</td> </tr> <tr> <td>（賛助会員（企業））</td> <td style="text-align: right;">30,000円</td> </tr> <tr> <td>（賛助会員以外の企業）</td> <td style="text-align: right;">50,000円</td> </tr> </table>	（国公立教育機関，国公立研究機関）	20,000円	（賛助会員（企業））	30,000円	（賛助会員以外の企業）	50,000円									
（国公立教育機関，国公立研究機関）	20,000円																	
（賛助会員（企業））	30,000円																	
（賛助会員以外の企業）	50,000円																	

2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

3. 原稿の書き方

●行事次第書：原則としてA4判カメラレディとします。

（1ページ）天地250mm × 左右160mm （1/2ページ）天地120mm × 左右160mm

* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシックなど）については，本会会告記載内容をご参照願います。

また，フロッピーディスクまたはE-mailでも受け付けますので，ご相談ください。

●人材募集：次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください。

* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]

4. 申込期限

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

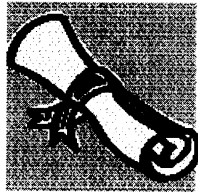
5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください。

6. 掲載申込先

（社）情報処理学会 会誌担当（有料会告係）

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03)5484-3534



人材募集

(有料会告)

申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 20,000円（+税）

賛助会員（企業） 30,000円（〆）

賛助会員以外の企業 50,000円（〆）

申込先：情報処理学会 会誌部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

●大同工業大学工学部応用電子工学科

募集人員 教授または助教授 1名

専門分野 ソフトウェア工学、ネットワーク、オペレーティングシステム、画像処理関連分野

応募資格 博士の学位を有し、博士後期課程の研究指導が可能な最近の業績を有する方

着任時期 平成12年4月1日以降のできる限り早い時期

提出書類 履歴書、教育・研究業績一覧表、主要論文別刷（5編、コピー可）

応募締切 平成11年12月31日（必着）

送付先/照会先 〒457-8531 愛知県名古屋市中区大同町2-21 大同工業大学応用電子工学科 主任 岩田 晃

E-mail:position@crystal.daido-it.ac.jp Tel(052)611-0513 Fax(052)612-5653

「応募書類在中」と朱記し書留

●北見工業大学情報システム工学科

募集人員 講師 1名

所属 情報数理工学講座

専門分野 数学

担当科目 数理解析、線形解析、工業数学および情報数理工学関連分野科目

応募資格 博士の学位を有する（取得見込みを含む）方

着任時期 平成12年4月1日（希望） *ただし、このポストは平成14年3月31日をもって解消される定員を使用するものであることから、任用期間は、平成14年3月31日までとなる

提出書類 履歴書、研究業績リスト、著書および論文別刷（コピー可）、現在までの研究経過と着任後の研究計画（1500字以内）

応募締切 平成12年1月14日（必着）

送付先/照会先 〒090-8507 北海道北見市公園町165 北見工業大学情報システム工学科講師選考委員会 委員長 河野正晴

E-mail:kouno@cs.kitami-it.ac.jp Tel/Fax(0157)26-9337 「応募書類」と朱記し書留

その他 選考方法：書類審査後、必要に応じて面接

●立命館大学理工学部情報学科

募集人員 助教授 3名

専門分野 情報工学、情報科学の諸分野

担当科目 専門分野の関連科目の他、実験・演習系科目

応募資格 博士の学位を有し、専門分野の研究業績のある方。着任時35歳以下が望ましい

着任時期 平成12年4月1日

提出書類 履歴書（教育歴（担当科目等）が分かるように書くこと）、研究業績リスト（著書、論文、口頭発表等に分類して書くこと）、主要論文別刷（数編）、現在までの研究内容と今後の研究計画の概要および当該研究分野の将来展望について（1500字程度）、私立大学における教育についての抱負（500字程度）

応募締切 平成12年1月14日（必着）

送付先 〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学理工学部情報学科 学系長 池田秀人 書留

照会先 理工学部情報学科 教授 八村広三郎 E-mail:hachi@cs.ritsumeai.ac.jp Tel(077)561-2689（直通）

●群馬大学工学部情報工学科

募集人員 助教授または助手 2名
専門分野 ソフトウェア工学基礎, 計算機システム・ネットワーク, 知識応用システム *詳細は<http://www.cs.gunma-u.ac.jp/>
応募資格 博士の学位を有し(助手の場合は取得見込みを含む), 教育用計算機システムの管理運営を分担できる方
着任時期 平成12年4月1日(またはそれ以降なるべく早い時期)
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主な論文の別刷, A4用紙1ページにまとめた研究内容および業績の概要
応募締切 平成12年1月20日
送付先/照会先 〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学工学部情報工学科 学科長 金谷健一
E-mail:kanatani@cs.gunma-u.ac.jp Tel(0277)30-1841 Fax(0277)30-1801

●筑波技術短期大学電子情報学科電子工学専攻

募集人員 助手 1名
専門分野 電子工学, 情報工学, 通信工学, 物理学, またはそれらの関連分野(特に実験系が望ましい). 学生実験・実習などの授業補助が可能な方
応募資格 聴覚障害者に対する理解とその教育に熱意を持ち, 大学院修士課程修了(平成12年3月修了見込みを含む)または, これに相当する経歴業績を有する年齢30歳程度以下の方
着任時期 平成12年4月1日
提出書類 履歴書, 全業績リスト一覧, 主要論文別刷(2編程度, 2部), 教育・研究についての抱負と計画, 他薦:推薦書, 自薦:照会者2名の氏名と連絡先
応募締切 平成12年1月28日(必着)
送付先 〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-3-15 筑波技術短期大学 庶務課人事係
照会先 電子情報学科電子工学専攻 主任 渡辺 隆 E-mail:takashi@a.tsukuba-tech.ac.jp Tel/Fax(0298)58-9390

●島根大学総合理工学部数理・情報システム学科

募集人員 助手 1名
所属 計算機科学講座
専門分野 計算機科学, 工学
応募資格 博士の学位を有し(取得確実な方を含む), 本学科計算機システムの管理, 演習, 実習, 実験の指導のできる方
着任時期 平成12年4月1日以降のできるだけ早い時期(予定)
提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文別刷(コピー可), これまでの研究・業績の概要, 今後の研究・教育に対する抱負, 参考意見のいただける方の氏名と連絡先
応募締切 平成12年1月31日(必着)
送付先/照会先 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学総合理工学部数理・情報システム学科 佐藤匡正
E-mail:satou@cis.shimane-u.ac.jp Tel(0852)32-6467 Fax(0852)32-6489 「助手応募書類在中」と朱書き書留

●奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報処理学専攻

募集人員 教授 1名
所属 計算機言語学講座
専門分野 コンピュータネットワーク, ネットワークプログラミング, プロトコル
応募資格 博士の学位と, 当該専門分野における十分な研究業績を有し, 大学院における教育研究に熱意を持って取り組んでいた方
着任時期 平成12年4月1日以後のなるべく早い時期
提出書類 履歴書(本人自筆の署名, 所属学会などを記載), 研究業績リスト(著書, 原著論文, 国際会議発表, 特許などの項目別に), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), これまでの研究歴およびその他の活動の紹介(学会活動, 専門分野に関する社会的な活動などを含む. 1000字未満), 将来の教育・研究に関する抱負(1000字未満), 参考意見を述べる事ができる方の氏名, 連絡先
応募締切 平成12年2月15日
照会先/送付先 〒630-0101 奈良県生駒市高山町8916-5 奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科長 植村俊亮
E-mail:uemura@is.aist-nara.ac.jp Tel(0743)72-5330または5200 Fax(0743)72-5339
<http://nara.aist-nara.ac.jp> 「教官応募書類在中」と朱書きし書留 *応募書類は原則として返却いたしません

● (仮称) 関西学院大学理学部情報科学科 (平成13年4月設置認可申請予定)

募集人員 第1期 教員 約5名 第2期 教員 約5名 第3期 教員 若干名
専門分野 情報科学分野 (ただしハードウェア製作が中心となる研究分野を除く)
応募資格 情報科学に関連する分野で大学院博士課程修了またはそれと同等の学力を有し研究業績、教育への熱意のある方
着任時期 1. 平成14年4月1日 2. 平成15年4月1日 3. 平成16年4月1日
提出書類 履歴書・業績書 (所定様式), 主要論文別刷 (5編以内), 従来の研究経過と将来の研究と教育に対する抱負 (1500字以内), 推薦書または所見を求め得る方2名の氏名と連絡先
応募締切 第1期 平成12年2月21日 (必着) 第2期 平成12年5月1日 (必着) 第3期 平成12年7月31日 (必着)
*再応募はできませんが, 1期の応募書類については2期および3期の, 2期の応募書類については3期の選考対象とさせていただきます
送付先 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 関西学院大学理学部長 「情報科学科教員応募書類在中」と朱書
照会先 関西学院大学理学部事務室分室 尾木義久 E-mail:ogi@kgo.kwansei.ac.jp Tel/Fax(0798)54-6295 (直通)
その他 勤務地: 関西学院大学神戸三田キャンパス (兵庫県三田市学園2-1). 採用に関しましては情報科学科が設置認可されることが条件となります. 設置認可されない場合は採用取り消しとなりますのであらかじめご了承ください. 所定様式は <http://science.kwansei.ac.jp/~plan/recruit.html> にて掲載いたしておりますのでご参照ください

● 湘北短期大学電子情報学科

募集人員 助手または講師 2名
専門分野 現在の専門分野を問わないが, エレクトロニクスに興味を持ち, 情報科学に詳しい方. 着任後, 当面は電子工学実験, プログラミング演習およびサーバの管理などを担当していただきます
応募資格 大学院修士課程修了以上 (博士課程中退可) で, 電子工学, 情報科学関連の教育研究に熱意がある, 30歳以下 (平成12年4月1日現在) の方
着任時期 平成12年4月1日以降できるだけ早い時期
提出書類 履歴書 (本学所定用紙), 研究業績リスト (本学所定用紙), 主要論文別刷 (著書は現物, 分担執筆の場合は分担個所のコピー可), 推薦書 (様式自由), 短大における教育・研究に対する抱負 (様式自由)
*本学所定用紙は下記照会先までご請求ください. E-mailでの送付 (PDF形式) も可能です
応募締切 平成12年2月15日 (必着)
送付先 〒243-8501 神奈川県厚木市温水428 学校法人ソニー学園 湘北短期大学 総務部長 山本 滋
E-mail:s-yama@shohoku.ac.jp Tel(046)247-3131 (代) 「電子情報学科教員公募書類在中」と朱記し書留
照会先 総務部長 山本 滋 E-mail:s-yama@shohoku.ac.jpまたは学科長 小野博敏 E-mail:ono@shohoku.ac.jp
その他 選考日: 締切後, ご本人宛ご連絡します

● 千葉大学工学部都市環境システム学科

募集人員 助教授 1名
所属 都市情報ネットワークシステム講座マルチメディアシステム分野
専門分野 コンピュータネットワークシステム
担当科目 システム評価 (学部), マルチメディア論 (学部), 電子情報システム (博士前期課程), 情報通有システム (博士後期課程)
応募資格 博士の学位を有し (取得見込みを含む), 博士後期課程を担当できる30歳代の方
着任時期 平成12年6月1日以降できるだけ早い時期 (予定)
提出書類 履歴書, 研究業績リスト (査読の有無により区分してください), 主要原著論文別刷 (コピー可), これまでの研究概要 (自由形式, 1000字以内), 着任後の研究・教育に対する抱負 (自由形式, 800字以内), 所見を求め得る方2名の氏名, 連絡先 各2部
応募締切 平成12年2月15日 (必着)
送付先 〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 千葉大学工学部都市環境システム学科 学科長 北原理雄
「マルチメディアシステム助教授公募書類」と朱記し書留 *応募書類は返却いたしません
照会先 池田宏明 E-mail:ikedada@hike.te.chiba-u.ac.jp Tel(043)290-3352 Fax(043)290-3039 <http://dues.tu.chiba-u.ac.jp>
その他 選考方法: 書類選考の後, 面接を行います

●筑波大学機能工学系

募集人員 講師 若干名
専門分野 システム・情報工学
担当科目 工学システム学類における情報処理教育および大学院で情報関連分野の講義と研究指導
応募資格 博士の学位を有し、上記の専門およびその関連分野において研究業績のある35歳くらいまでの方
着任時期 決定後なるべく早い時期
提出書類 下記の照会先に問い合わせるか、WWWの案内を見てください
応募締切 平成12年2月29日(必着)
照会先 機能工学系 教授 大田友一 E-mail:jjinji@esys.tsukuba.ac.jp Tel(0298)53-5515 Fax(0298)53-5207 (学系事務室)
http://www.esys.tsukuba.ac.jp *問合せはできるだけE-mailをお願いします

●株式会社 ニコンシステム

募集人員 (1) CAE (構造解析), (2) ファームウェア, (3) データベース (オラクル) 各1名
職務内容 (1) 機械系の構造解析および分析, (2) 精密機器等の電子制御ソフトウェア開発, (3) データベースとネットワークを中心とした事務処理システムの要求分析および客先提案作業
応募資格 (1) 有限要素法による解析の経験者, (2) OS: MS-DOS, Windows 言語: ASM, C, (3) クライアント・サーバ型システム開発経験者およびデータベース (オラクル) に関する知識, 技術
採用時期 随時
提出書類 履歴書 (希望職種明記), 職務経歴書 (業務経歴, 応募動機, 作業担当分野)
応募締切 平成12年3月31日
送付先 〒220-6116 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB 16F (株)ニコンシステム本社
採用担当 稲見, 今道 Tel(045)682-0120

●宮崎大学工学部情報システム工学科

募集人員 助教授 1名
所属 産業情報システム講座
専門分野 ソフトウェア工学 (応用システム開発方法論, ヒューマン・インタフェース, グループウェア, データウェアハウスなど), または, 広域ネットワーク応用システム (マルチメディア通信, 電子商取引, テレオペレーション, リモート・センシングなど) のいずれか
担当科目 産業情報システム講座の開講科目の講義. 「グラフとネットワーク」, 「ソフトウェア工学」など, または, 「マルチメディア情報処理」, 「コンピュータ・グラフィクス」などのいずれか. ならびに, 工学研究科博士課程の教育・研究指導
応募資格 情報工学または関連分野に業績があり, 博士号を有する年齢30~45歳程度の方
着任時期 平成12年7月1日
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要な学術論文別刷 (5編程度), 教育研究に関する抱負, 本人についての所見を求め得る方2名の氏名, 所属とその住所・職名・電話番号
応募締切 平成12年3月31日
送付先/照会先 〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1-1 宮崎大学工学部情報システム工学科 学科長 北添徹郎
E-mail:kitazoe@cs.miyazaki-u.ac.jp Tel(0985)58-7413 Fax(0985)58-7421

●九州工業大学情報工学部機械システム工学科

募集人員 助教授または講師 1名
専門分野 知的設計支援, および, このための各種ソフトウェアの構築技術について実務的な業績のある方
担当科目 プログラミング, OSとアーキテクチャ, プログラム言語の理論と実際
応募資格 博士の学位を有し (取得見込みを含む), 年齢45歳以下の方
着任時期 平成12年10月1日以降のできるだけ早い時期
提出書類 履歴書, 業績リスト (論文, 著書, 開発システム, 特許など), 主要論文別刷, 現在までの研究概要, 教育研究の将来の抱負, 所見を求め得る方2名の氏名 (連絡先, 電話番号), 健康診断書
応募締切 平成12年6月30日
送付先 〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4 九州工業大学情報工学部機械システム工学科 学科長 鈴木 裕
「設計システム教官応募書類在中」と朱書き書留
照会先 同上 長澤 勲 E-mail:nagasawa@mse.kyutech.ac.jp Tel(0948)29-7764 Fax(0948)29-7760

会 員 募 集 中

★ 主な活動内容

- ・機関誌の発行 会誌「情報処理」(月刊)
「情報処理学会論文誌」(月刊)
- ・全国大会 年2回開催(春、秋) CD-ROM論文集発行
- ・調査・研究 領域(コンピュータサイエンス、情報環境、フロンティア)
所属の研究会、研究グループによる発表会・シンポジウム
等の開催
調査委員会による特定課題の調査研究
- ・情報処理教育委員会 カリキュラム、アクレデテーション等調査会の開催
- ・国際交流 IFIP, SEARCCに加盟、ACM, IEEE, IJSSと提携
- ・標準化 ISO/IEC JTC1 情報技術の国際標準化の推進

情報に関心をお持ちの方で、ご入会いただけます。
ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) からのご入会が可能です。

	入会金	会費
正会員	2,000 円	9,600 円
学生会員	免除	4,800 円
海外会員		5,700 円
賛助会員	1口	50,000 円
国内購読員	1口	28,224 円 (機関誌年間セット購読)

★ 会費

会誌「情報処理」の購読、
「情報処理学会論文誌」の購読、
研究会に登録(研究報告、論文発表等)の権利、
全国大会、セミナー、シンポジウム等各種行事の参加費会員価格
正会員の学術情報センター情報検索サービスの利用可
ACM会費が20%、IEEE会費が10%割引になります。
本学会編集図書が会員価格で購入できます



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル 7F
TEL 03-5484-3535 FAX 03-5484-3534
E-mail: mem@ipsj.or.jp

変 更 連 絡 届

申込日: 年 月 日

● 会員番号		○ 専門分野コード表 以下の5つまで、名簿掲載可能(1つ)を○で囲んでください。		
● 会員種別 <input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 学生会員 卒業予定年月: 年 月		大項目 中項目		
● 氏名(漢字)		○01基礎理論と基礎技術	○01情報数学	
● 氏名(カナ)			○02非線形力学	
● 氏名(0-7字)			○03アルゴリズム理論	
性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女			○04オペレーションズリサーチ	
生年月日 年 月 日		○02人工知能と認知科学	○05確率・統計	
機関誌発送先 <input type="checkbox"/> 自宅			○06数値計算	
<input type="checkbox"/> 勤務先(個人)			○07数値シミュレーション	
<input type="checkbox"/> 勤務先(一括) グループコード:			○08高性能計算	
住所 〒			○03メディア情報処理	○01知能処理
○ 自宅	Tel	○02人工知能システム		
	Fax	○03自然言語処理		
	E-mail	○04生体情報処理		
		○05感性情報処理		
○ 勤務先・在学学校	住所 〒	○04ソフトウェア		○01音声言語情報処理
	Tel (内線)			○02画像信号処理
	Fax		○03画像・図形認識	
	E-mail		○04コンピュータグラフィクス	
名称	○05テキスト処理			
事業所名	○06メディア処理装置			
所属	○07マルチメディア処理			
職種・役職		○05データベース	○01基礎理論	
事務局からの案内 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否			○02プログラミング言語と仕様記述	
関連学協会の案内 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否			○03言語処理系	
○ 卒業学校名	卒業年月 年 月	○06ソフトウェア工学	○04ツール	
論文誌(有料) (6,930円)	A. 購読希望 年 月号より		○05ウィンドウシステム	
	送金方法 年 月 日		○06オペレーティングシステム	
<input type="checkbox"/> 現金持参 <input type="checkbox"/> 現金書留 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 銀行 銀行振込			○07ハードウェア	○07プログラミング技術
B. 購読中止 年 月号より				○01データベース
*過分購読費は会費に振替させていただきます。				○02情報学基礎
退会希望 年 月より		○01開発技術		
退会理由	*会費および購読費未納の方には、後日退会精算請求をいたします。	○02テスト・保守・管理		
連絡事項		○03ソフトウェアプロセス		
		○09ネットワーク	○04開発環境	
			○05ヒューマンファクタ	
			○06ソフトウェア品質	
		○10システム	○01基礎理論	
			○02論理回路	
			○03デバイス	
			○04計算機アーキテクチャ	
			○05メモリ・I/Oアーキテクチャ	
			○06設計技術と設計自動化	
			○01並列処理アーキテクチャ	
		○11信頼性と安全性	○02並列処理ハードウェア	
			○03並列処理ソフトウェア	
			○04並列処理応用	
			○01通信技術	
		○12教育	○02ネットワーク管理	
			○03コンピュータネットワーク	
			○01システム技術	
			○02グループウェア	
			○03インタフェース	
			○04対話型システム	
			○05オンラインリアルタイムシステム	
		○13応用	○06制御システム	
			○07システム評価	
		○14その他	○01信頼性	
			○02機密保護	
		○12教育	○01教育	
			○01企業等への応用	
			○02工学等への応用	
			○03音楽への応用	
			○04人文科学への応用	
			○05障害者補助	
		○13応用	○06その他への応用	
			○01社会	
		○14その他	○02その他	

[記入要領]

- 欄は該当するものにチェックしてください。
- 英数字ははっきりわかりやすく記入してください。
難解なものには(フリガナ)等を付けてください。
例. 英文字のO (オー) と数字の0 (ぜい) , 英文字のI (アイ) と数字の1 (イチ)
- は名簿掲載選択項目ですので、掲載不可の場合は、○の上に×を記入してください。
●は名簿掲載必須項目です。
- 性別、生年月日、卒業学校名・卒業年月については、必須データではありませんが、なるべくご記入ください。

[注意事項]

- 自宅住所でマンション・アパート名等を省略できる場合には、省略形でご記入ください。
- 勤務先、在学学校名は正式名称でご記入いただき、所属の略称等がございましたら併記願います。
- 学生会員の方で、在学期間等を延長された方々は、卒業(予定)年月を必ずご記入願います。
- 一括扱い会員の方は、必ずグループコードをご記入ください。また、通信区分を自宅または勤務先(個人)へ変更の場合には個人扱いに切り替わりますのでご留意ください。
- 機関誌発送先を海外へ変更する場合には、発送は船便となります。航空便をご希望の場合には実費負担となります。

[変更連絡/退会/各種問合せ方法]

各種連絡/問合せには、なるべくE-mail, Fax, 郵便をご利用ください。

- (1) 住所等会員データに変更が生じた場合には、速やかに「変更連絡届」(会誌付録会告, ホームページ各種申込書)にて変更内容を会員担当に毎月20日頃までにご連絡ください。
- (2) 退会を希望する場合は、「退会届」(会員番号・氏名・退会年月・退会理由)を必ず会員担当に提出してください。
- (3) その他の各種問合せについては、該当する担当までご連絡ください。

[論文誌のご購読について]

「情報処理学会論文誌」(月刊)は有料頒布です。まだ購読されていない方はぜひ裏面に購読希望月をご記入いただき、別途購読費6,930円(購読費6,600円+消費税330円)をご送金ください。購読費入金確認後発送となります。

[連絡先電子メールの登録について]

事務局では、会員の皆様へのお問い合わせにE-mailを使用しており、大変好評をいただいております。会員登録データへの連絡先電子メールの登録にご協力をお願いいたします。

[会費等の支払方法]

会費の納入には手続きが簡単便利な「口座自動振替制度」をぜひご利用ください。個人会員(一括払いを除く)の方で銀行または郵便局の口座をご登録いただければ、会費および論文誌購読費を毎年3月にご指定の口座から自動振替により納入できます。

[会員資格]

会員資格は、毎年度(4月～翌年3月)自動継続となります。

退会, 死亡, 除名*1等によりその資格を喪失します。

*1.会費の滞納が1ヶ年以上におよぶ時は、その直後の総会の議決を経て除名することがあります。

[各種掲載月]

本誌掲載: 賛助会員名簿: 4月, 10月

入会申込用紙: 4月, 10月

別冊掲載: 入会申込用紙: 奇数月

変更連絡用紙: 偶数月

「入会のおすすめ」: 3月, 9月

預金口座振替依頼書(銀行・金庫): 3月, 9月

海外からの送金方法(用紙): 6月

[事務局への送金]

郵便振替 00150-4-83484

第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普) 1013945

東京三菱銀行 虎ノ門公務部 (普) 0000608

名義人 社団法人 情報処理学会

*銀行送金の際には別途送金詳細(金融機関名, 送金日, 送金内訳等)を各担当係宛にご連絡ください。

◆各種問合せ先 (社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	項目
総務	somu@ipsj.or.jp	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
会員	mem@ipsj.or.jp	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明
経理	keiri@ipsj.or.jp	出納
システム企画	ipsjadm@ipsj.or.jp	システム企画, 電子化専門委員会
調査研究	sig@ipsj.or.jp	研究会登録, 研究発表会, シンポジウム
事業	jigyo@ipsj.or.jp	全国大会, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム
国際	intl@ipsj.or.jp	国際会議, IFIP委員会
図書	tosh@ipsj.or.jp	出版物購入
会誌	editj@ipsj.or.jp	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載
論文誌	editt@ipsj.or.jp	情報処理学会論文誌, 出版, 転載許可
規格部 (情報規格調査会)	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/